

「気候変動に関する世論調査」の概要

令和5年11月
内閣府政府広報室

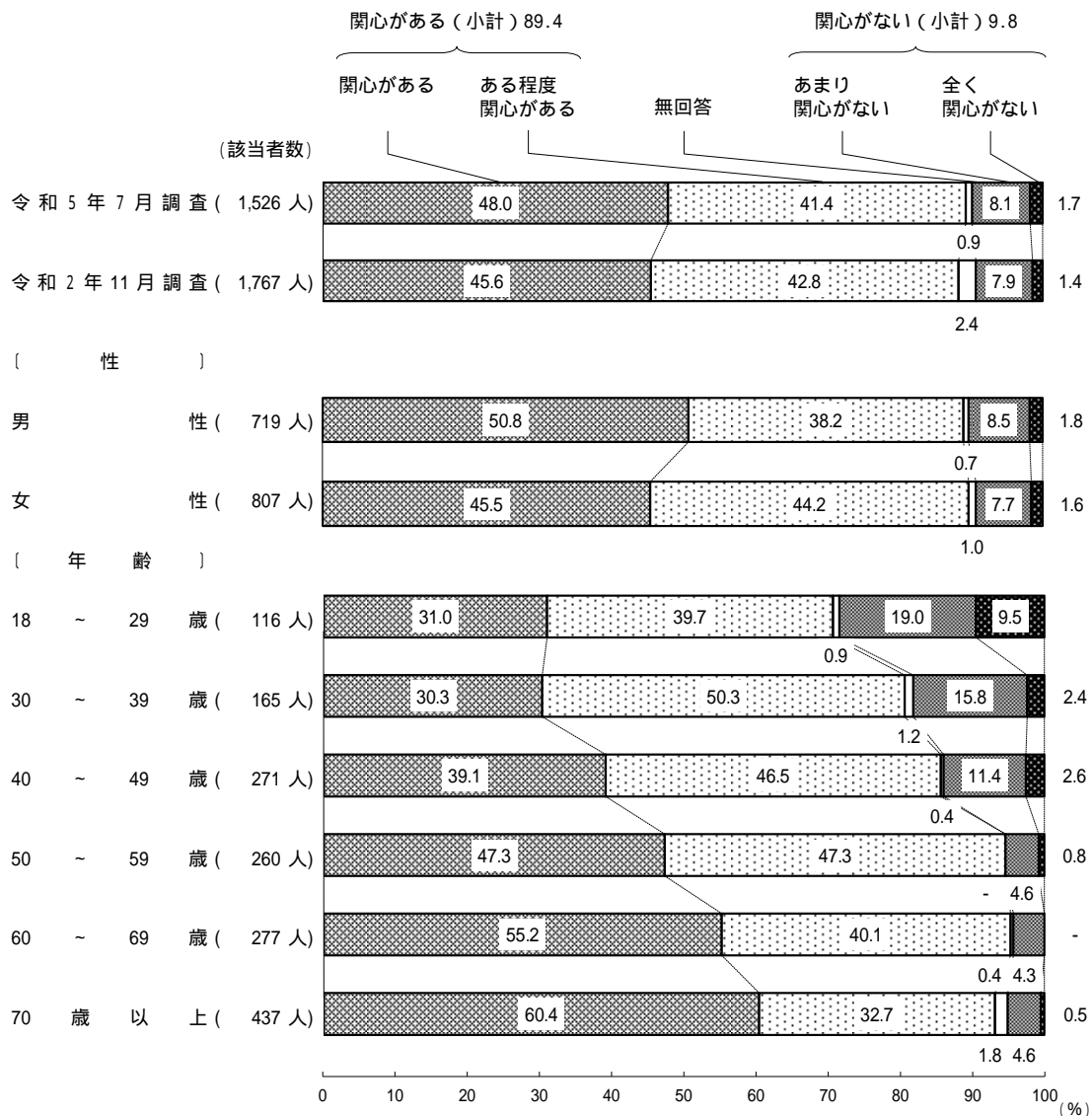
調査対象	全国18歳以上の日本国籍を有する者3,000人 有効回収数1,526人(有効回収率50.9%) (有効回収数の内訳:郵送1,057人、インターネット469人)
調査期間	令和5年7月27日～9月3日
調査方法	郵送法(配布:郵送、回収:郵送又はインターネット回答)
調査目的	気候変動に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。
調査項目	1 気候変動問題について 2 脱炭素社会について 3 気候変動影響について 4 気候変動適応について
調査実績	「気候変動に関する世論調査」(令和2年11月) 「地球温暖化対策に関する世論調査」(平成17年7月、平成19年8月、平成28年8月) 「地球温暖化防止とライフスタイルに関する世論調査」(平成13年7月) 「地球環境とライフスタイルに関する世論調査」(平成10年11月) 「地球温暖化問題に関する世論調査」(平成9年6月)
関係府省庁	環境省
その他	1 平成28年8月調査までは調査員による個別面接聴取法で実施しているため、郵送法で実施した令和2年11月調査以降との単純比較は行わない。 また、平成27年度までは、調査対象者の年齢が20歳以上であったが、平成28年度以降は18歳以上の方を調査対象に実施している。 2 本資料では、過去の調査結果との比較において、統計学的に有意差(信頼度95%)が認められる回答については、「 <input type="checkbox"/> 」(比率の上昇を表す)または「 <input type="checkbox"/> 」(低下を表す)と記載している。 3 図表の数値(%)は、表章単位未満の位で四捨五入しているため、内訳の合計が100にならないこともある。

1 気候変動問題について

(1) 地球環境問題に対する関心

問1. 気候変動とは、人間の活動に伴って発生する二酸化炭素などの温室効果ガスが増えることによって地球の気温が上昇する「地球温暖化」や、自然の要因などによって気温や降水量などが変動することをいいます。あなたは、気候変動が引き起こす問題に関心がありますか。(は1つ)

	令和2年11月	令和5年7月
<u>関心がある(小計)</u>	<u>88.3%</u>	<u>89.4%</u>
・関心がある	45.6%	48.0%
・ある程度関心がある	42.8%	41.4%
<u>関心がない(小計)</u>	<u>9.3%</u>	<u>9.8%</u>
・あまり関心がない	7.9%	8.1%
・全く関心がない	1.4%	1.7%



(注) 令和2年11月調査では、「あなたは、地球の温暖化、オゾン層の破壊、熱帯林の減少などの地球環境問題に関心がありますか。それとも関心がありませんか。」と聞いている。

表 1 - 1 地球環境問題に対する関心

	該 当 者 数	人	関 心 が あ る			関 心 が あ ま り 関 心 が な い			無 回 答
			関 心 が あ る	あ る 程 度 関 心 が あ る	あ る 程 度 関 心 が あ る	関 心 が あ ま り 関 心 が な い	あ ま り 関 心 が な い	全 く 関 心 が な い	
総 数 〔 都 市 規 模 〕	1,526		89.4	48.0	41.4	9.8	8.1	1.7	0.9
大 都 市	439		90.7	47.8	42.8	8.9	7.7	1.1	0.5
東 京 都 区 部	109		89.9	48.6	41.3	9.2	7.3	1.8	0.9
政 令 指 定 都 市	330		90.9	47.6	43.3	8.8	7.9	0.9	0.3
中 都 市	623		88.8	46.4	42.4	10.4	8.2	2.2	0.8
小 都 市	324		89.8	50.6	39.2	9.0	7.7	1.2	1.2
町 村	140		87.1	49.3	37.9	11.4	9.3	2.1	1.4
〔 性 〕									
男 性	719		89.0	50.8	38.2	10.3	8.5	1.8	0.7
女 性	807		89.7	45.5	44.2	9.3	7.7	1.6	1.0
〔 年 齢 〕									
18 ～ 29 歳	116		70.7	31.0	39.7	28.4	19.0	9.5	0.9
30 ～ 39 歳	165		80.6	30.3	50.3	18.2	15.8	2.4	1.2
40 ～ 49 歳	271		85.6	39.1	46.5	14.0	11.4	2.6	0.4
50 ～ 59 歳	260		94.6	47.3	47.3	5.4	4.6	0.8	-
60 ～ 69 歳	277		95.3	55.2	40.1	4.3	4.3	-	0.4
70 歳 以 上	437		93.1	60.4	32.7	5.0	4.6	0.5	1.8

表 1 - 2 地球環境問題に対する関心（時系列）

	該 当 者 数	人	関 心 が あ る			関 心 が あ ま り 関 心 が な い			無 回 答
			関 心 が あ る	あ る 程 度 関 心 が あ る	あ る 程 度 関 心 が あ る	関 心 が あ ま り 関 心 が な い	あ ま り 関 心 が な い	全 く 関 心 が な い	
令 和 2 年 11 月 調 査	1,767		88.3	45.6	42.8	9.3	7.9	1.4	2.4
令 和 5 年 7 月 調 査	1,526		89.4	48.0	41.4	9.8	8.1	1.7	0.9

（注）令和2年11月調査では、「あなたは、地球の温暖化、オゾン層の破壊、熱帯林の減少などの地球環境問題に関心がありますか。それとも関心がありませんか。」と聞いている。

表 1 - 参考 地球環境問題に対する関心

	該 当 者 数	人	関 心 が あ る			関 心 が あ ま り 関 心 が な い			わ か ら な い
			関 心 が あ る	あ る 程 度 関 心 が あ る	あ る 程 度 関 心 が あ る	関 心 が あ ま り 関 心 が な い	あ ま り 関 心 が な い	全 く 関 心 が な い	
平 成 10 年 11 月 調 査	2,131		82.0	42.1	39.9	17.3	13.3	4.0	0.7
平 成 13 年 7 月 調 査	3,541		82.4	40.2	42.2	16.4	13.3	3.1	1.1
平 成 17 年 7 月 調 査	1,626		87.1	48.2	38.9	11.9	9.7	2.2	1.0
平 成 19 年 8 月 調 査	1,805		92.3	57.6	34.7	7.3	5.9	1.3	0.4
平 成 28 年 8 月 調 査 〔 う ち 20 歳 以 上 〕	1,786		87.4	40.9	46.5	12.4	10.0	2.4	0.2
平 成 28 年 8 月 調 査	1,816		87.2	40.4	46.8	12.6	10.1	2.4	0.2

（注1）平成10年11月調査では、「あなたは、オゾン層の破壊、地球の温暖化の問題や熱帯林の減少などの地球環境問題に関心がありますか。それとも関心はありませんか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

（注2）平成13年7月調査では、「あなたは、オゾン層の破壊、地球の温暖化、熱帯林の減少などの地球環境問題に関心がありますか。それとも関心がありませんか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

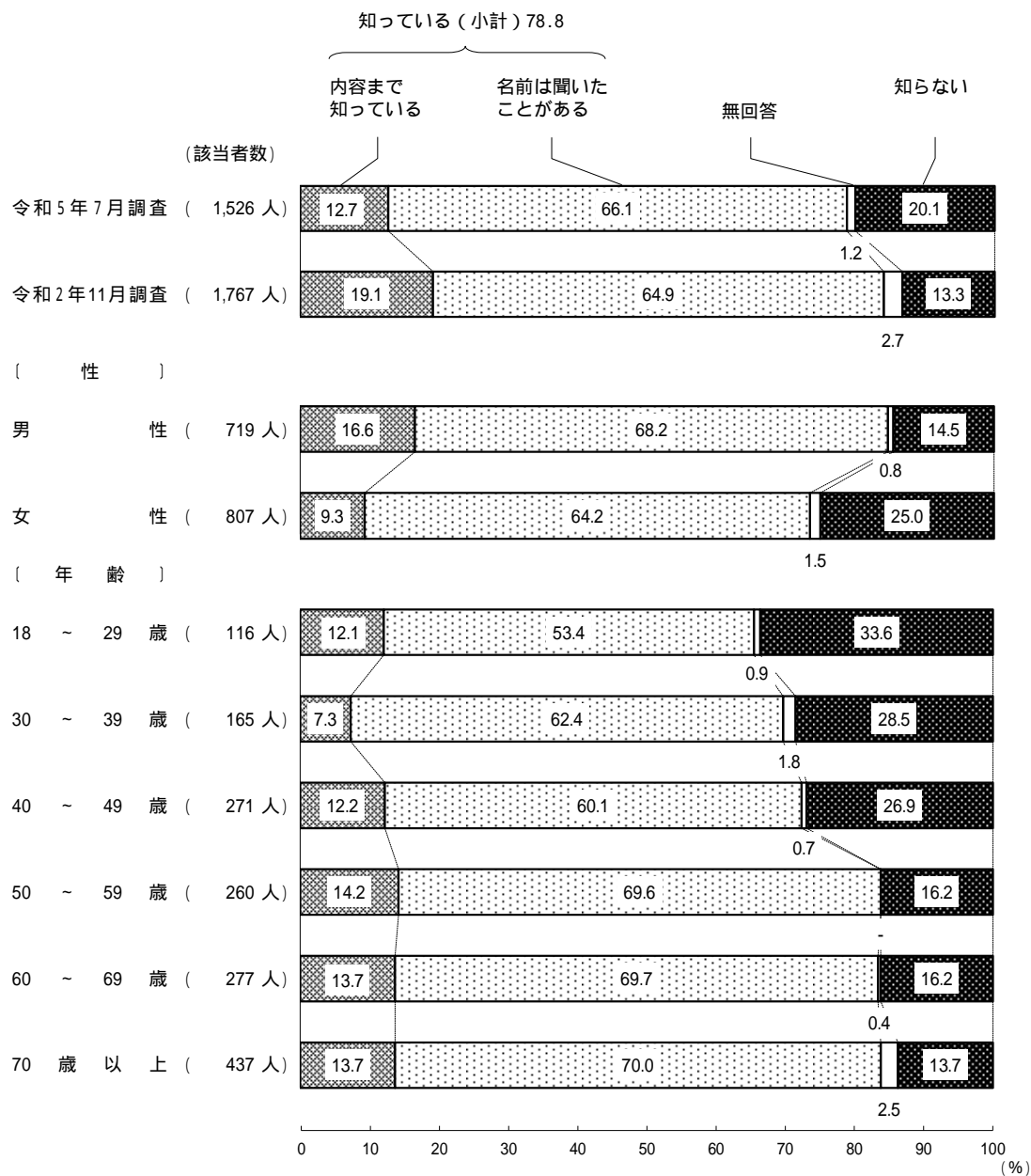
（注3）平成28年8月調査までは、「あなたは、地球の温暖化、オゾン層の破壊、熱帯林の減少などの地球環境問題に関心がありますか。それとも関心がありませんか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

（注4）平成28年8月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和2年11月調査以降との単純比較は行わない。

(2) パリ協定の認知度

問2. あなたは、2015年にフランスのパリで開催された国際会議「COP^{コップ}21」で採択された、気候変動対策のための国際的な枠組みである「パリ協定」を知っていますか。(は1つ)

	令和2年11月	令和5年7月
知っている(小計)	84.0%	78.8%
・内容まで知っている	19.1%	12.7%
・名前は聞いたことがある	64.9%	66.1%
・知らない	13.3%	20.1%



(注) 令和2年11月調査では、「あなたは、2015年にフランスのパリで開催された国際会議「COP(コップ)21」で採択された、温室効果ガス削減などのための国際的な枠組みである「パリ協定」を知っていますか。」と聞いている。

表 2 - 1 パリ協定の認知度

	該 当 者 数	知 っ て (小計) る	知		知 ら な い	無 回 答
			内容 まで 知っ てい る	名前 は聞 いた こと があ る		
	人	%	%	%	%	%
総 〔都市規模〕	1,526	78.8	12.7	66.1	20.1	1.2
大 都 市	439	81.3	13.0	68.3	18.0	0.7
東 京 都 区 部	109	89.0	18.3	70.6	10.1	0.9
政 令 指 定 都 市	330	78.8	11.2	67.6	20.6	0.6
中 都 市	623	79.6	12.8	66.8	18.9	1.4
小 都 市	324	75.9	12.0	63.9	22.5	1.5
町 村	140	73.6	12.9	60.7	25.7	0.7
〔性〕						
男	719	84.7	16.6	68.2	14.5	0.8
女	807	73.5	9.3	64.2	25.0	1.5
〔年齢〕						
18 ~ 29 歳	116	65.5	12.1	53.4	33.6	0.9
30 ~ 39 歳	165	69.7	7.3	62.4	28.5	1.8
40 ~ 49 歳	271	72.3	12.2	60.1	26.9	0.7
50 ~ 59 歳	260	83.8	14.2	69.6	16.2	-
60 ~ 69 歳	277	83.4	13.7	69.7	16.2	0.4
70 歳以上	437	83.8	13.7	70.0	13.7	2.5

表 2 - 2 パリ協定の認知度（時系列）

	該 当 者 数	知 っ て (小計) る	知		知 ら な い	無 回 答
			内容 まで 知っ てい る	名前 は聞 いた こと があ る		
	人	%	%	%	%	%
令和 2 年 11 月 調査	1,767	84.0	19.1	64.9	13.3	2.7
令和 5 年 7 月 調査	1,526	78.8	12.7	66.1	20.1	1.2

(注) 令和 2 年 11 月調査では、「あなたは、2015 年にフランスのパリで開催された国際会議「COP（コップ）21」で採択された、温室効果ガス削減などのための国際的な枠組みである「パリ協定」を知っていますか。」と聞いている。

表 2 - 参考 パリ協定の認知度

	該 当 者 数	知 っ て (小計) る	知		知 ら な い	わ か ら な い
			内容 まで 知っ てい る	名前 は聞 いた こと があ る		
	人	%	%	%	%	%
平成 28 年 8 月 調査	1,816	59.6	7.0	52.6	39.5	0.8

(注 1) 「あなたは、昨年、フランスのパリで開催された国際会議「COP（コップ）21」で採択された、温室効果ガス削減などのための新たな国際的な枠組である「パリ協定」を知っていますか。この中から 1 つだけお答えください。」と聞いている。

(注 2) 平成 28 年 8 月調査は、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和 2 年 11 月調査以降との単純比較は行わない。

ア パリ協定の情報の入手方法

(問2で「内容まで知っている」、「名前は聞いたことがある」と答えた者に)
 問3. パリ協定について何で知りましたか。(はいくつでも)

(上位2項目)
 令和5年7月
 89.4%
 47.9%

- ・テレビ・ラジオ
- ・新聞・雑誌・本

(「パリ協定」について、「内容まで知っている」、「名前は聞いたことがある」と答えた者に、複数回答)

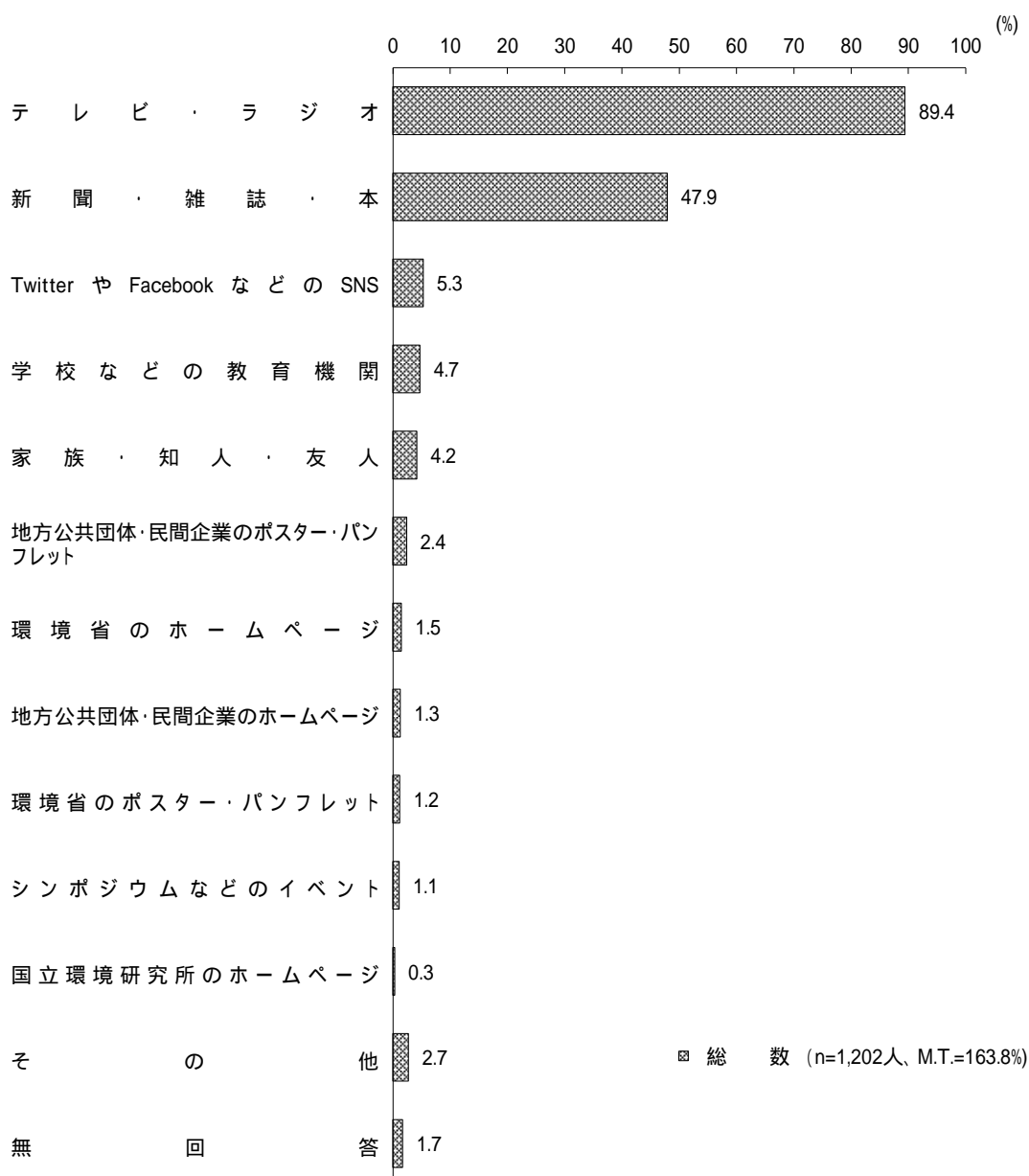


表3 パリ協定の情報の入手方法

(「パリ協定」について、「内容まで知っている」、「名前は聞いたことがある」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	テ レ ビ ・ ラ ジ オ	新 聞 ・ 雑 誌 ・ 本	T w i t t e r や F a c e b o o k な ど の S N S	学 校 な ど の 教 育 機 関	家 族 ・ 知 人 ・ 友 人	地 方 公 共 団 体 ・ 民 間 企 業 の ポ ス タ ー ・ パ ン フ レ ッ ト	環 境 省 の ホ ー ム ペ ー ジ	地 方 公 共 団 体 ・ 民 間 企 業 の ホ ー ム ペ ー ジ	環 境 省 の ポ ス タ ー ・ パ ン フ レ ッ ト	シ ン ポ ジ ウム な ど の イ ベ ン ト	国 立 環 境 研 究 所 の ホ ー ム ペ ー ジ	そ の 他	無 回 答	計 (M. T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総 数	1,202	89.4	47.9	5.3	4.7	4.2	2.4	1.5	1.3	1.2	1.1	0.3	2.7	1.7	163.8
〔都市規模〕															
大 都 市	357	84.9	41.7	7.0	6.2	7.0	2.2	2.0	1.1	1.7	2.0	0.6	3.9	2.5	162.7
東京都区部	97	86.6	47.4	10.3	3.1	5.2	1.0	1.0	-	1.0	-	-	5.2	3.1	163.9
政令指定都市	260	84.2	39.6	5.8	7.3	7.7	2.7	2.3	1.5	1.9	2.7	0.8	3.5	2.3	162.3
中 都 市	496	91.7	49.2	4.2	3.0	1.6	2.4	1.0	1.8	1.0	0.4	0.2	1.8	0.8	159.3
小 都 市	246	89.0	49.6	7.3	5.3	5.3	2.4	2.0	0.8	0.8	1.6	-	3.7	2.0	169.9
町 村	103	95.1	59.2	-	5.8	3.9	2.9	1.0	1.0	1.9	-	1.0	1.0	1.9	174.8
〔性〕															
男 性	609	88.5	50.4	6.4	3.6	3.3	2.8	2.3	2.1	1.3	1.6	0.5	4.3	1.5	168.6
女 性	593	90.4	45.4	4.2	5.7	5.1	2.0	0.7	0.5	1.2	0.5	0.2	1.2	1.9	158.9
〔年 齢〕															
18 ～ 29 歳	76	60.5	15.8	13.2	48.7	2.6	2.6	1.3	-	-	1.3	-	1.3	2.6	150.0
30 ～ 39 歳	115	80.9	19.1	13.0	3.5	2.6	2.6	0.9	0.9	1.7	0.9	0.9	8.7	3.5	139.1
40 ～ 49 歳	196	88.3	34.2	10.2	2.0	3.1	0.5	1.5	3.1	-	1.5	-	3.6	1.0	149.0
50 ～ 59 歳	218	89.4	42.7	4.6	2.3	5.5	0.5	1.8	1.8	-	0.9	0.9	3.2	0.9	154.6
60 ～ 69 歳	231	97.0	58.4	1.7	0.4	3.9	2.6	1.7	0.9	2.6	0.4	-	2.6	1.3	173.6
70 歳 以 上	366	94.0	67.5	1.4	1.4	4.9	4.4	1.4	0.8	1.9	1.4	0.3	0.5	1.9	181.7

(3) IPCC評価報告書の認知度

問4. 国際連合によって設置されたIPCCという政府間の組織は、1990年から5~7年程度ごとに気候変動に関連する評価報告書を公表しています。あなたは、最新の同報告書において、初めて、人間の活動が地球を温暖化させてきたと断定する見解が示されたことを知っていますか。(は1つ)

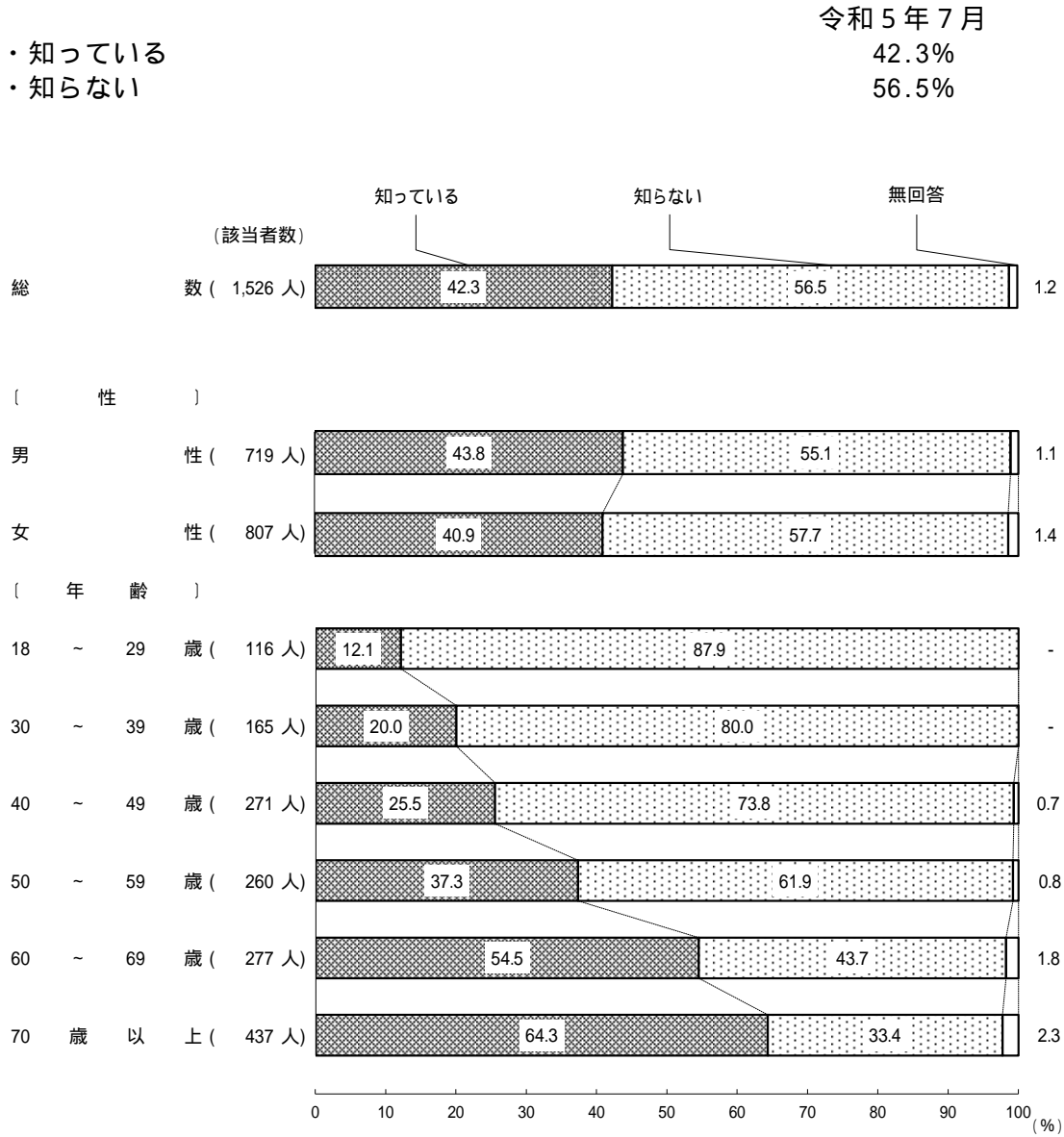


表4 IPCC評価報告書の認知度

	該 当 者 数	知 っ て い る	知 ら な い	無 回 答
	人	%	%	%
総 〔都市規模〕	1,526	42.3	56.5	1.2
大 都 市	439	41.0	58.3	0.7
東 京 都 区 部	109	46.8	53.2	-
政 令 指 定 都 市	330	39.1	60.0	0.9
中 都 市	623	41.3	57.6	1.1
小 都 市	324	45.4	53.4	1.2
町 〔性〕	140	43.6	52.9	3.6
男 性	719	43.8	55.1	1.1
女 性	807	40.9	57.7	1.4
〔年 齡〕				
18 ~ 29 歳	116	12.1	87.9	-
30 ~ 39 歳	165	20.0	80.0	-
40 ~ 49 歳	271	25.5	73.8	0.7
50 ~ 59 歳	260	37.3	61.9	0.8
60 ~ 69 歳	277	54.5	43.7	1.8
70 歳 以 上	437	64.3	33.4	2.3

ア IPCC評価報告書の情報の入手方法

(問4で「知っている」と答えた者に)

問5. その報告書の内容について何で知りましたか。(はいくつでも)

(上位2項目)

令和5年7月

90.4%

60.5%

- ・テレビ・ラジオ
- ・新聞・雑誌・本

〔最新のIPCC評価報告書において、初めて、人間の活動が地球を温暖化させてきたと断定する見解が示されたことを「知っている」と答えた者に、複数回答〕

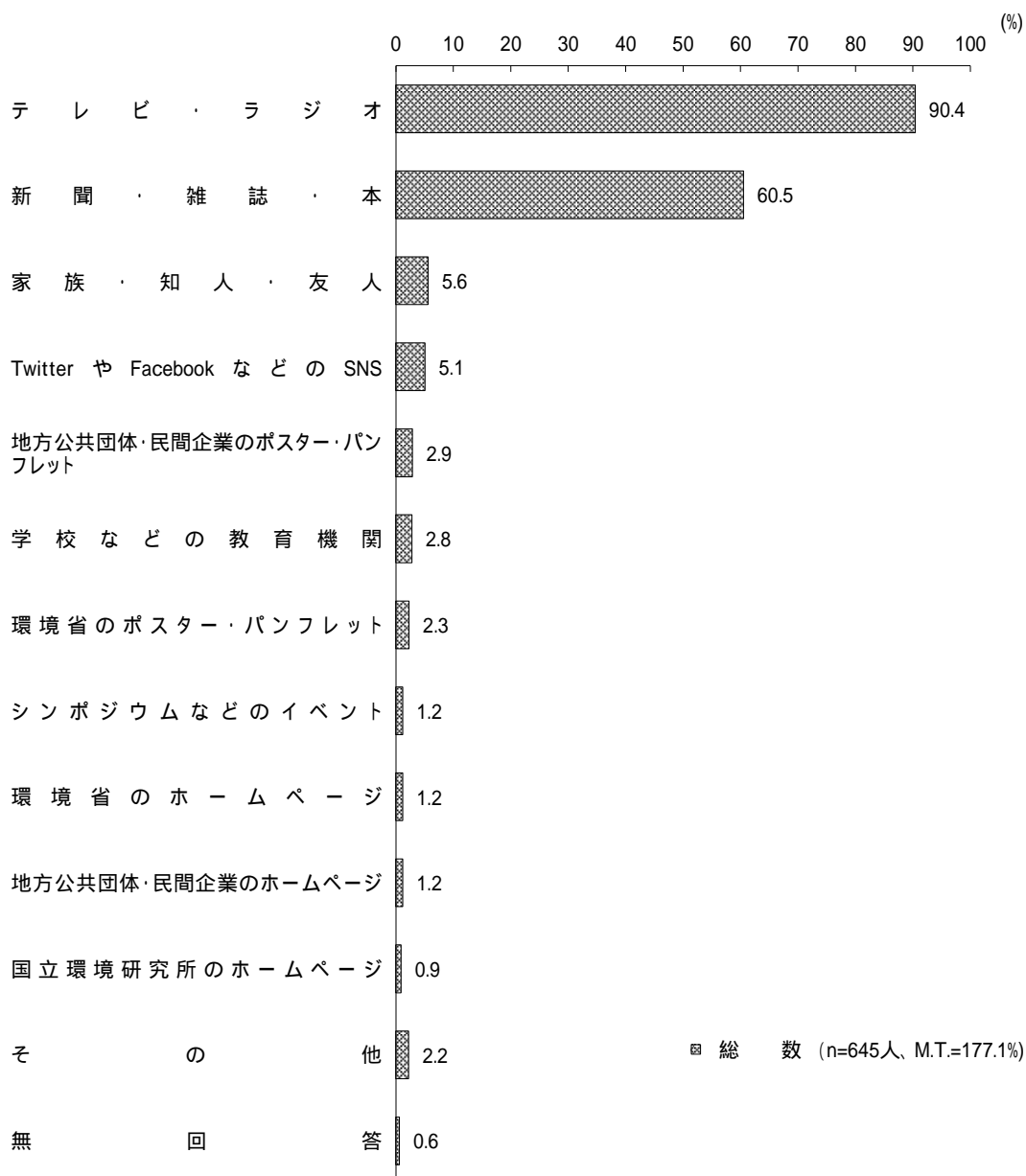


表5 IPCC評価報告書の情報の入手方法

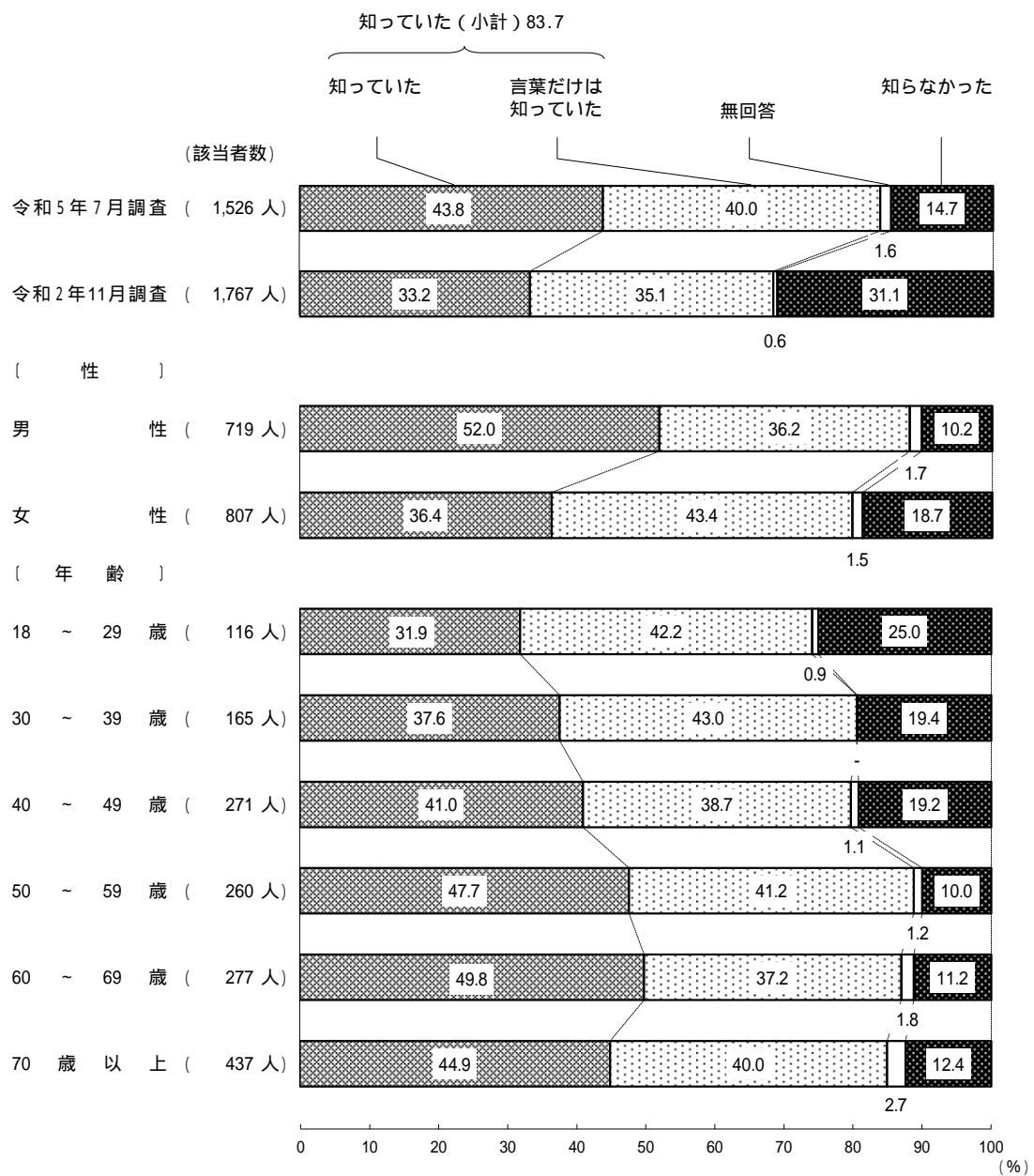
〔最新のIPCC評価報告書において、初めて、人間の活動が地球を温暖化させてきたと断定する見解が示されたことを「知っている」と答えた者に、複数回答〕

	該当者数	テレビ・ラジオ	新聞・雑誌・本	家族・知人・友人	TwitterやFacebookなどのSNS	地方公共団体・民間企業のパネル・パンフレット	学校などの教育機関	環境省のポスター・パンフレット	シンポジウムなどのイベント	環境省のホームページ	地方公共団体・民間企業のホームページ	国立環境研究所のホームページ	その他	無回答	計(M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数〔都市規模〕	645	90.4	60.5	5.6	5.1	2.9	2.8	2.3	1.2	1.2	1.2	0.9	2.2	0.6	177.1
大都市	180	87.2	56.1	7.2	7.8	2.2	2.8	1.7	1.7	2.8	1.1	1.7	3.3	0.6	176.1
東京都区部	51	90.2	52.9	3.9	11.8	2.0	-	-	2.0	-	-	-	3.9	2.0	168.6
政令指定都市	129	86.0	57.4	8.5	6.2	2.3	3.9	2.3	1.6	3.9	1.6	2.3	3.1	-	179.1
中都市	257	92.6	59.9	3.9	4.3	3.5	1.9	2.3	0.8	0.4	1.9	0.4	1.6	0.4	173.9
小都市	147	88.4	61.2	6.1	4.1	3.4	4.8	2.7	2.0	1.4	0.7	1.4	2.0	1.4	179.6
町村	61	95.1	73.8	6.6	3.3	1.6	1.6	3.3	-	-	-	-	1.6	-	186.9
〔性別〕															
男性	315	88.6	65.7	2.5	5.4	2.2	2.2	2.5	2.2	1.9	1.9	1.6	2.5	0.3	179.7
女性	330	92.1	55.5	8.5	4.8	3.6	3.3	2.1	0.3	0.6	0.6	0.3	1.8	0.9	174.5
〔年齢〕															
18～29歳	14	50.0	7.1	14.3	28.6	-	21.4	7.1	-	-	-	7.1	7.1	-	142.9
30～39歳	33	78.8	27.3	-	12.1	3.0	12.1	3.0	9.1	3.0	3.0	3.0	3.0	-	157.6
40～49歳	69	76.8	37.7	1.4	8.7	1.4	2.9	-	2.9	1.4	4.3	1.4	8.7	1.4	149.3
50～59歳	97	87.6	51.5	5.2	9.3	2.1	4.1	1.0	-	-	1.0	1.0	4.1	-	167.0
60～69歳	151	97.4	62.3	5.3	2.6	3.3	1.3	1.3	-	0.7	2.0	0.7	0.7	0.7	178.1
70歳以上	281	94.3	74.7	7.1	2.1	3.6	1.1	3.6	1.1	1.8	-	0.4	0.4	0.7	190.7

2 脱炭素社会について
 (1) 脱炭素社会の認知度

問6 「脱炭素社会」とは、人間の活動による温室効果ガスの排出量と森林などによる吸収量が等しくなり、排出実質ゼロとなる社会をいいます。あなたは、「脱炭素社会」について知っていましたか。(は1つ)

	令和2年11月	令和5年7月
知っていた(小計)	68.4%	83.7%
・知っていた	33.2%	43.8%
・言葉だけは知っていた	35.1%	40.0%
・知らなかった	31.1%	14.7%



(注) 令和2年11月調査では、「あなたは、「脱炭素社会」について知っていましたか。」と聞いている。

表 6 - 1 脱炭素社会の認知度

	該 当 者 数	知 っ て (小 計)	知		知 ら な か っ た	無 回 答
			っ て い た	言葉 だけ は知 っ て い た		
	人	%	%	%	%	%
総 〔都市規模〕 大 都 市 東 京 都 区 部 政 令 指 定 都 市 中 都 市 小 都 市 町 村 〔性〕 男 性 女 性 〔年 齢〕 18 ~ 29 歳 30 ~ 39 歳 40 ~ 49 歳 50 ~ 59 歳 60 ~ 69 歳 70 歳 以 上	1,526 439 109 330 623 324 140 719 807 116 165 271 260 277 437	83.7 83.8 87.2 82.7 85.4 82.1 80.0 88.2 79.8 74.1 80.6 79.7 88.8 87.0 84.9	43.8 47.8 57.8 44.5 43.2 42.9 35.7 52.0 36.4 31.9 37.6 41.0 47.7 49.8 44.9	40.0 36.0 29.4 38.2 42.2 39.2 44.3 36.2 43.4 42.2 43.0 38.7 41.2 37.2 40.0	14.7 15.3 12.8 16.1 13.2 16.0 16.4 10.2 18.7 25.0 19.4 19.2 10.0 11.2 12.4	1.6 0.9 - 1.2 1.4 1.9 3.6 1.7 1.5 0.9 - 1.1 1.2 1.8 2.7

表 6 - 2 脱炭素社会の認知度（時系列）

	該 当 者 数	知 っ て (小 計)	知		知 ら な か っ た	無 回 答
			っ て い た	言葉 だけ は知 っ て い た		
	人	%	%	%	%	%
令 和 2 年 11 月 調 査 令 和 5 年 7 月 調 査	1,767 1,526	68.4 83.7	33.2 43.8	35.1 40.0	31.1 14.7	0.6 1.6

(注) 令和2年11月調査では、「あなたは、「脱炭素社会」について知っていましたか。」と聞いている。

(2) 脱炭素社会の実現に向けた取組への意欲

問7 . あなたは、「脱炭素社会」の実現に向け、一人一人が二酸化炭素などの排出を減らす取組について、どのようにお考えですか。(1 は 1 つ)

	令和 2 年 11 月	令和 5 年 7 月
<u>取り組みたい (小計)</u>	<u>91.9%</u>	<u>90.2%</u>
・積極的に取り組みたい	24.8%	25.1%
・ある程度取り組みたい	67.1%	65.1%
<u>取り組みたくない (小計)</u>	<u>7.1%</u>	<u>8.0%</u>
・あまり取り組みたくない	5.7%	6.3%
・全く取り組みたくない	1.5%	1.7%

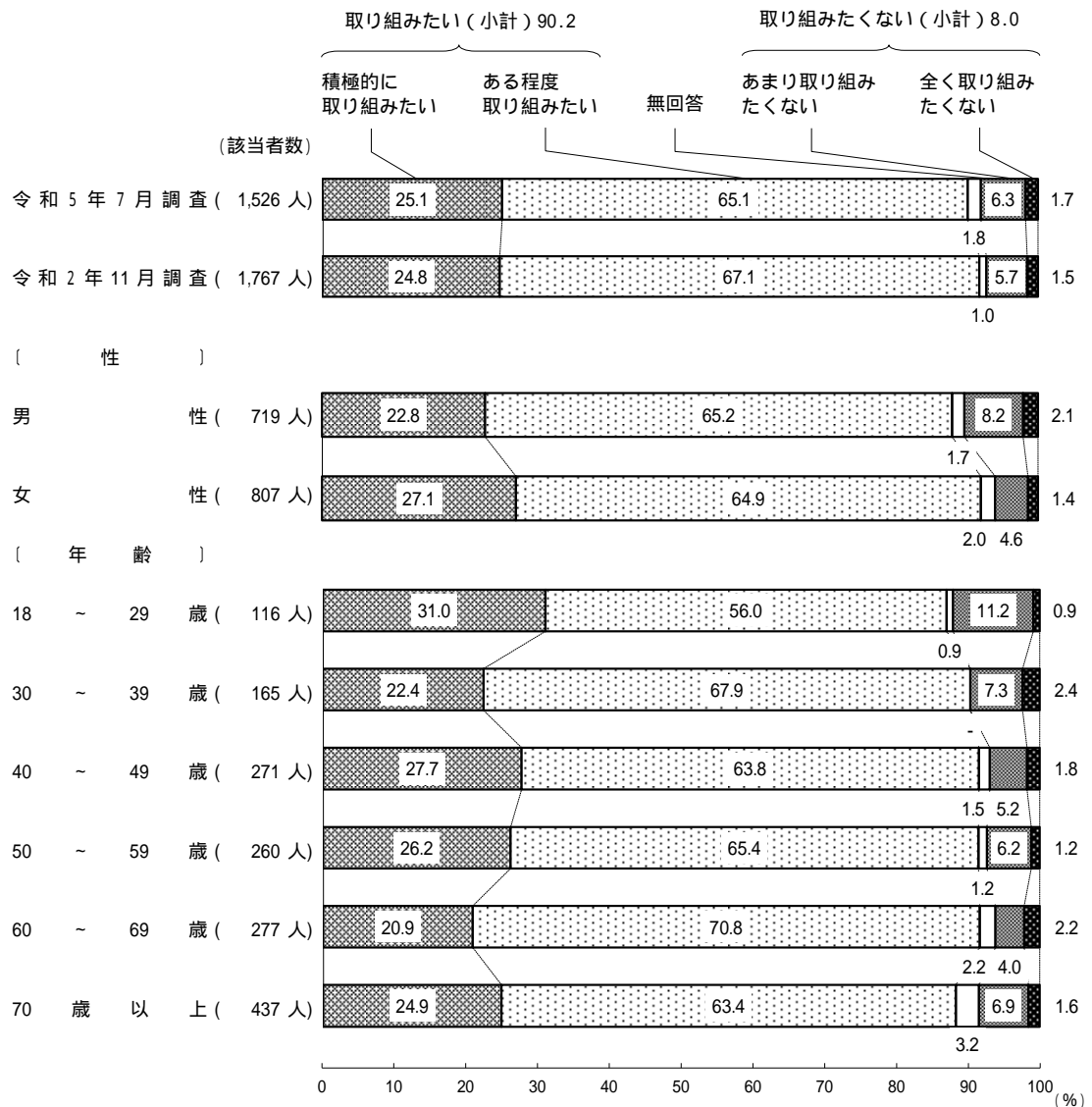


表7 - 1 脱炭素社会の実現に向けた取組への意欲

	該 当 者 数	取 り 組 み (小 計 い)	積 極 的 に 取 り 組 み た い	あ る 程 度 取 り 組 み た い	取 り 組 み た く な い (小 計 い)	あ ま り 取 り 組 み た く な い	全 く 取 り 組 み た く な い	無 回 答
			%	%	%	%	%	
総 〔都市規模〕 大 東 京 都 区 部 市 政 令 指 定 都 市 中 小 町 〔性〕 男 女 〔年 齢〕 18 30 40 50 60 70	1,526 439 109 330 623 324 140 719 807 116 165 271 260 277 437	90.2 89.7 90.8 89.4 90.9 91.4 85.7 88.0 92.1 87.1 90.3 91.5 91.5 91.7 88.3	25.1 29.4 33.9 27.9 24.2 21.6 23.6 22.8 27.1 31.0 22.4 27.7 26.2 20.9 24.9	65.1 60.4 56.9 61.5 66.6 69.8 62.1 65.2 64.9 56.0 67.9 63.8 65.4 70.8 63.4	8.0 9.1 9.2 9.1 6.9 7.4 10.7 10.3 5.9 12.1 9.7 7.0 7.3 6.1 8.5	6.3 8.2 8.3 8.2 5.0 5.2 8.6 8.2 4.6 11.2 7.3 5.2 6.2 4.0 6.9	1.7 0.9 0.9 0.9 1.9 2.2 2.1 2.1 1.4 0.9 2.4 1.8 1.2 2.2 1.6	1.8 1.1 - 1.5 2.2 1.2 3.6 1.7 2.0 0.9 - 1.5 1.2 2.2 3.2

表7 - 2 脱炭素社会の実現に向けた取組への意欲（時系列）

	該 当 者 数	取 り 組 み (小 計 い)	積 極 的 に 取 り 組 み た い	あ る 程 度 取 り 組 み た い	取 り 組 み た く な い (小 計 い)	あ ま り 取 り 組 み た く な い	全 く 取 り 組 み た く な い	無 回 答
			%	%	%	%	%	
令 和 2 年 11 月 調 査	1,767	91.9	24.8	67.1	7.1	5.7	1.5	1.0
令 和 5 年 7 月 調 査	1,526	90.2	25.1	65.1	8.0	6.3	1.7	1.8

ア 脱炭素社会の実現に向けた取組を行いたくない理由

(問7で「あまり取組みたくない」、「全く取組みたくない」と答えた者に)
 問8. 取組みたくない理由は何ですか。(はいいくつでも)

	令和2年11月	令和5年7月
・地球温暖化への対策としてどれだけ効果があるのかわからないから	48.4%	47.5%
・どのような基準で選択し、どのように取組みればよいか情報が不足しているから	45.2%	30.3%
・日常生活の中で常に意識して行動するのが難しいから	27.8%	27.9%
・手間が掛かるから	18.3%	23.8%
・経済的なコストが掛かるから	19.0%	21.3%
・地球温暖化への対策のための取組を行う必要性を感じないから	15.1%	14.8%
・その他	12.7%	14.8%

〔「脱炭素社会」の実現に向け、一人一人が二酸化炭素などの排出を減らす取組について、「あまり取組みたくない」、「全く取組みたくない」と答えた者に、複数回答〕

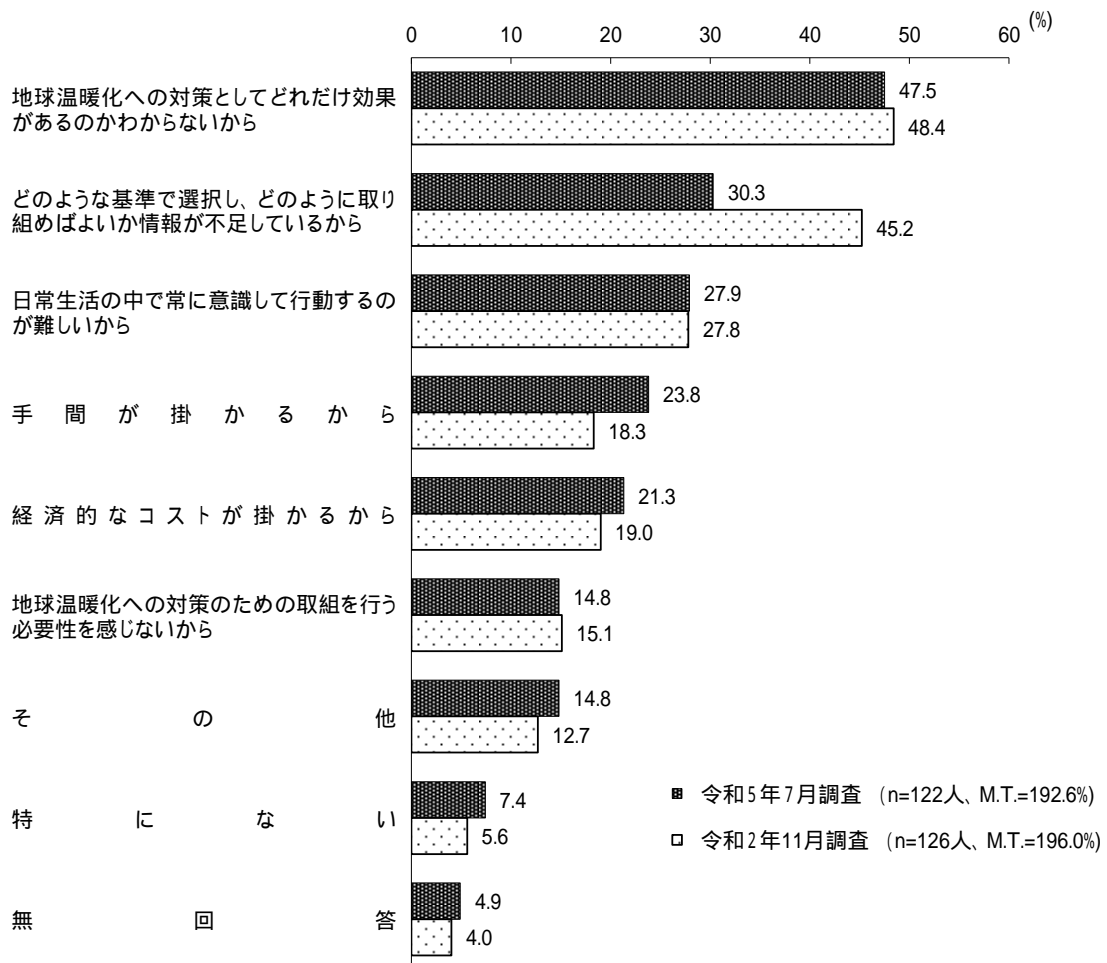


表 8 - 1 脱炭素社会の実現に向けた取組を行いたくない理由

〔「脱炭素社会」の実現に向け、一人一人が二酸化炭素などの排出を減らす取組について、
「あまり取組みたくない」、「全く取組みたくない」と答えた者に、複数回答〕

	該 当 者 数	地球温暖化への対策としてどれだけの取組が実施されているか	どの様な基準で選択し、どのようになっているか	日常生活の中で常に意識して行動しているか	手間が掛かるから	経済的なコストが掛かるから	地球温暖化への対策のための取組を行う必要性を感じないから	その他	特 に な い	無 回 答	計 (M.T.)
総数	122	47.5	30.3	27.9	23.8	21.3	14.8	14.8	7.4	4.9	192.6
〔都市規模〕											
大都市	40	57.5	22.5	22.5	25.0	17.5	17.5	27.5	5.0	5.0	200.0
東京都	10	50.0	20.0	10.0	30.0	20.0	10.0	40.0	-	10.0	190.0
政令指定都市	30	60.0	23.3	26.7	23.3	16.7	20.0	23.3	6.7	3.3	203.3
中都市	43	37.2	39.5	27.9	27.9	20.9	14.0	4.7	7.0	2.3	181.4
小都市	24	50.0	33.3	37.5	8.3	16.7	20.8	12.5	4.2	12.5	195.8
町	15	46.7	20.0	26.7	33.3	40.0	-	13.3	20.0	-	200.0
〔性別〕											
男性	74	47.3	31.1	21.6	28.4	25.7	21.6	17.6	9.5	2.7	205.4
女性	48	47.9	29.2	37.5	16.7	14.6	4.2	10.4	4.2	8.3	172.9
〔年齢〕											
18～29歳	14	50.0	28.6	-	57.1	42.9	28.6	14.3	14.3	-	235.7
30～39歳	16	62.5	43.8	18.8	37.5	31.3	6.3	6.3	-	-	206.3
40～49歳	19	47.4	42.1	36.8	21.1	31.6	26.3	5.3	10.5	-	221.1
50～59歳	19	57.9	15.8	26.3	10.5	21.1	5.3	31.6	5.3	5.3	178.9
60～69歳	17	58.8	35.3	11.8	5.9	5.9	35.3	35.3	11.8	-	200.0
70歳以上	37	29.7	24.3	45.9	21.6	10.8	2.7	5.4	5.4	13.5	159.5

表 8 - 2 脱炭素社会の実現に向けた取組を行いたくない理由（時系列）

〔「脱炭素社会」の実現に向け、一人一人が二酸化炭素などの排出を減らす取組について、
「あまり取組みたくない」、「全く取組みたくない」と答えた者に、複数回答〕

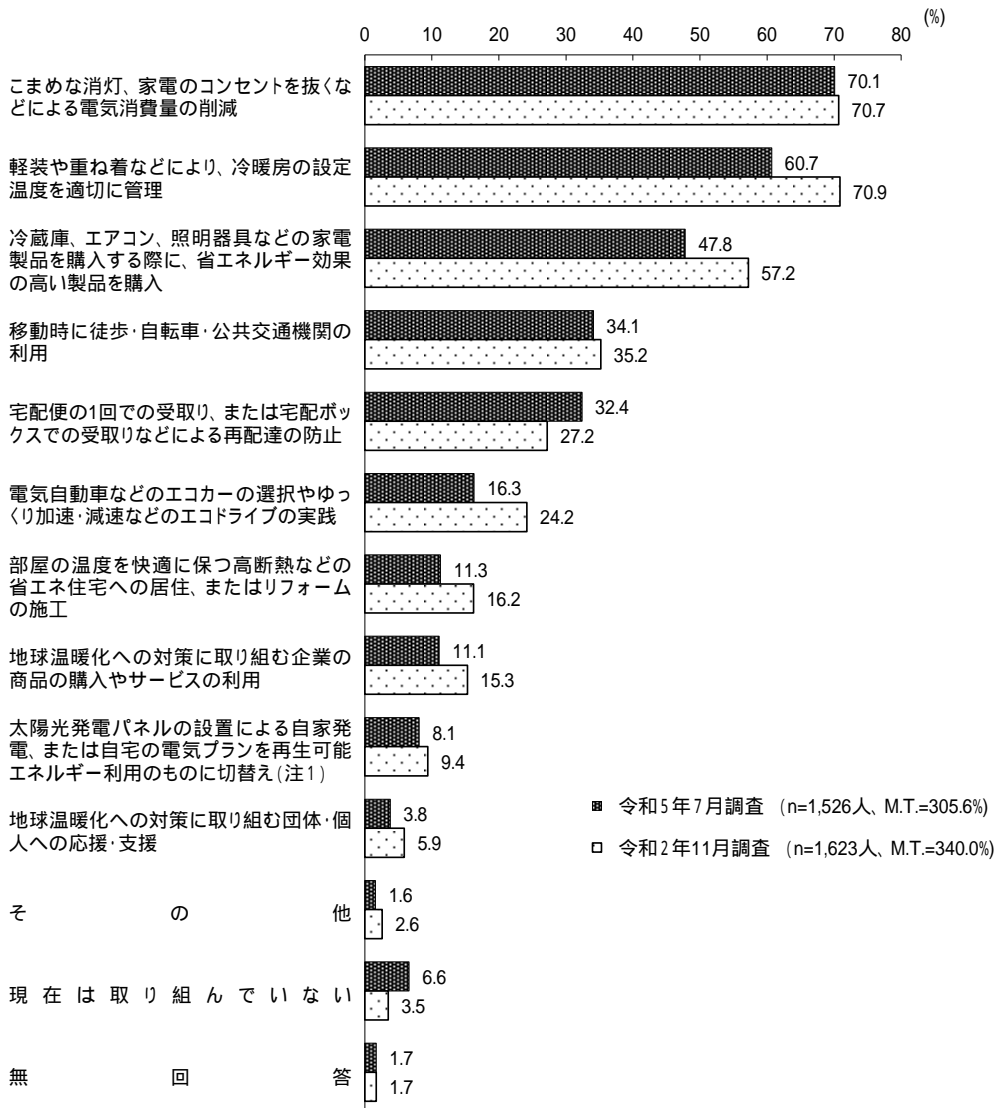
	該 当 者 数	地球温暖化への対策としてどれだけの取組が実施されているか	どの様な基準で選択し、どのようになっているか	日常生活の中で常に意識して行動しているか	手間が掛かるから	経済的なコストが掛かるから	地球温暖化への対策のための取組を行う必要性を感じないから	その他	特 に な い	無 回 答	計 (M.T.)
令和 2 年 11 月 調査	126	48.4	45.2	27.8	18.3	19.0	15.1	12.7	5.6	4.0	196.0
令和 5 年 7 月 調査	122	47.5	30.3	27.9	23.8	21.3	14.8	14.8	7.4	4.9	192.6

(3) 日常生活で行っている脱炭素社会の実現に向けた取組

問9 「脱炭素社会」の実現に向け、あなたが日常生活の中で、現在、取り組んでいることは何がありますか。(はいいくつでも)

	令和2年11月	(上位5項目) 令和5年7月
・こまめな消灯、家電のコンセントを抜くなどによる電気消費量の削減	70.7%	70.1%
・軽装や重ね着などにより、冷暖房の設定温度を適切に管理	70.9%	60.7%
・冷蔵庫、エアコン、照明器具などの家電製品を購入する際に、省エネルギー効果の高い製品を購入	57.2%	47.8%
・移動時に徒歩・自転車・公共交通機関の利用	35.2%	34.1%
・宅配便の1回での受取り、または宅配ボックスでの受取りなどによる再配達の防止	27.2%	32.4%

（令和2年11月調査では、「脱炭素社会」の実現に向け、一人一人が二酸化炭素などの排出を減らす取組について、「積極的に取り組みたい」、「ある程度取り組みたい」と答えた者に、複数回答
令和5年7月調査では、全員の者に、複数回答



(注1) 令和2年11月調査では、「太陽光発電パネルの設置による自家発電、又は自宅の電気を再生可能エネルギーに切替え」となっている。

(注2) 令和2年11月調査では、質問文中の「現在、取り組んでいること」は下線されていない。

表9 - 1 日常生活で行っている脱炭素社会の実現に向けた取組

(複数回答)

	該 当 者 数	取組													計 (M.T.) %		
		電 気 消 費 量 の 削 減	こ ま め な 消 灯 、 家 電 の コ ン セ ン ト を 抜 く な ど に よ る	軽 装 や 重 ね 着 な ど に よ り 、 冷 暖 房 の 設 定 温 度 を 適 切 に 管 理	冷 蔵 庫 、 エ ア コ ン 、 照 明 器 具 な ど の 家 電 製 品 を 購 入 す る 際 に 、 省 エ ネ ル ギ ー 効 果 の 高 い 製 品 を 購 入	移 動 時 に 徒 歩 ・ 自 転 車 ・ 公 共 交 通 機 関 の 利 用	受 取 り な ど に よ る 再 配 達 の 防 止	宅 配 便 の 1 回 で の 受 取 り 、 ま た は 宅 配 ボ ツ ク ス で の	電 気 自 動 車 な ど の エ コ カ ー の 選 択 や ゆ つ く り 加 速 ・ 減 速 な ど の エ コ ド ラ イ ブ の 実 践	部 屋 の 温 度 を 快 適 に 保 つ 高 断 熱 な ど の 省 エ ネ 住 宅 へ の 居 住 、 ま た は リ フ ォ ー ム の 施 工	サ ー ビ ス の 利 用	地 球 温 暖 化 へ の 対 策 に 取 り 組 む 企 業 の 商 品 の 購 入 や	切 替 え (注1)	太 陽 光 発 電 パ ネ ル の 設 置 に よ る 自 家 発 電 、 ま た は 自 宅 の 電 気 を 再 生 可 能 エ ネ ル ギ ー 利 用 の も の に		援 ・ 支 援	地 球 温 暖 化 へ の 対 策 に 取 り 組 む 団 体 ・ 個 人 へ の 応
総数	1,526	70.1	60.7	47.8	34.1	32.4	16.3	11.3	11.1	8.1	3.8	1.6	6.6	1.7	305.6		
[都市規模]																	
大都市	439	71.1	59.7	50.3	54.4	36.9	12.3	10.7	13.9	5.9	4.3	2.3	4.6	1.6	328.0		
東京都	109	68.8	60.6	53.2	67.9	45.0	7.3	11.0	14.7	2.8	5.5	4.6	2.8	0.9	345.0		
政令指定都市	330	71.8	59.4	49.4	50.0	34.2	13.9	10.6	13.6	7.0	3.9	1.5	5.2	1.8	322.4		
中都市	623	70.9	60.4	45.3	30.8	33.4	17.8	10.8	9.0	8.3	4.2	1.6	8.0	1.4	301.9		
小都市	324	67.3	61.1	49.7	18.8	25.6	17.9	11.7	10.8	9.0	3.4	1.2	7.7	1.2	285.5		
町	140	69.3	64.3	47.1	20.7	29.3	17.9	15.0	12.1	12.1	1.4	-	4.3	4.3	297.9		
[性別]																	
男性	719	66.6	54.0	43.7	29.3	25.7	19.5	9.6	10.2	7.4	4.5	1.5	9.9	1.4	283.2		
女性	807	73.1	66.7	51.5	38.4	38.3	13.4	12.9	11.9	8.8	3.2	1.6	3.7	2.0	325.5		
[年齢]																	
18～29歳	116	62.1	36.2	19.8	37.9	20.7	6.9	1.7	3.4	3.4	0.9	0.9	15.5	-	209.5		
30～39歳	165	57.6	55.2	36.4	35.2	38.8	12.7	8.5	8.5	9.7	1.8	1.8	7.9	-	273.9		
40～49歳	271	69.0	56.5	42.8	31.4	41.0	16.6	12.2	11.8	10.0	2.2	2.2	7.0	1.1	303.7		
50～59歳	260	71.9	60.0	53.5	33.1	33.1	20.4	12.3	13.5	11.9	4.2	3.1	5.4	0.8	323.1		
60～69歳	277	75.5	69.0	55.6	32.9	33.9	21.3	12.3	9.7	7.6	2.5	1.1	6.9	2.2	330.3		
70歳以上	437	73.0	67.0	54.5	35.9	26.3	14.2	13.3	13.0	5.7	6.9	0.7	4.1	3.4	318.1		

表9 - 2 日常生活で行っている脱炭素社会の実現に向けた取組(時系列)

令和2年11月調査では、「脱炭素社会」の実現に向け、一人一人が二酸化炭素などの排出を減らす取組について、「積極的に取り組みたい」、「ある程度取り組みたい」と答えた者に、複数回答
令和5年7月調査では、全員の者に、複数回答

	該 当 者 数	取組													計 (M.T.) %		
		電 気 消 費 量 の 削 減	こ ま め な 消 灯 、 家 電 の コ ン セ ン ト を 抜 く な ど に よ る	軽 装 や 重 ね 着 な ど に よ り 、 冷 暖 房 の 設 定 温 度 を 適 切 に 管 理	冷 蔵 庫 、 エ ア コ ン 、 照 明 器 具 な ど の 家 電 製 品 を 購 入 す る 際 に 、 省 エ ネ ル ギ ー 効 果 の 高 い 製 品 を 購 入	移 動 時 に 徒 歩 ・ 自 転 車 ・ 公 共 交 通 機 関 の 利 用	受 取 り な ど に よ る 再 配 達 の 防 止	宅 配 便 の 1 回 で の 受 取 り 、 ま た は 宅 配 ボ ツ ク ス で の	電 気 自 動 車 な ど の エ コ カ ー の 選 択 や ゆ つ く り 加 速 ・ 減 速 な ど の エ コ ド ラ イ ブ の 実 践	部 屋 の 温 度 を 快 適 に 保 つ 高 断 熱 な ど の 省 エ ネ 住 宅 へ の 居 住 、 ま た は リ フ ォ ー ム の 施 工	サ ー ビ ス の 利 用	地 球 温 暖 化 へ の 対 策 に 取 り 組 む 企 業 の 商 品 の 購 入 や	切 替 え (注1)	太 陽 光 発 電 パ ネ ル の 設 置 に よ る 自 家 発 電 、 ま た は 自 宅 の 電 気 を 再 生 可 能 エ ネ ル ギ ー 利 用 の も の に		援 ・ 支 援	地 球 温 暖 化 へ の 対 策 に 取 り 組 む 団 体 ・ 個 人 へ の 応
令和2年11月調査	1,623	70.7	70.9	57.2	35.2	27.2	24.2	16.2	15.3	9.4	5.9	2.6	3.5	1.7	340.0		
令和5年7月調査	1,526	70.1	60.7	47.8	34.1	32.4	16.3	11.3	11.1	8.1	3.8	1.6	6.6	1.7	305.6		

(注1) 令和2年11月調査では、「太陽光発電パネルの設置による自家発電、又は自宅の電気を再生可能エネルギーに切替え」となっている。

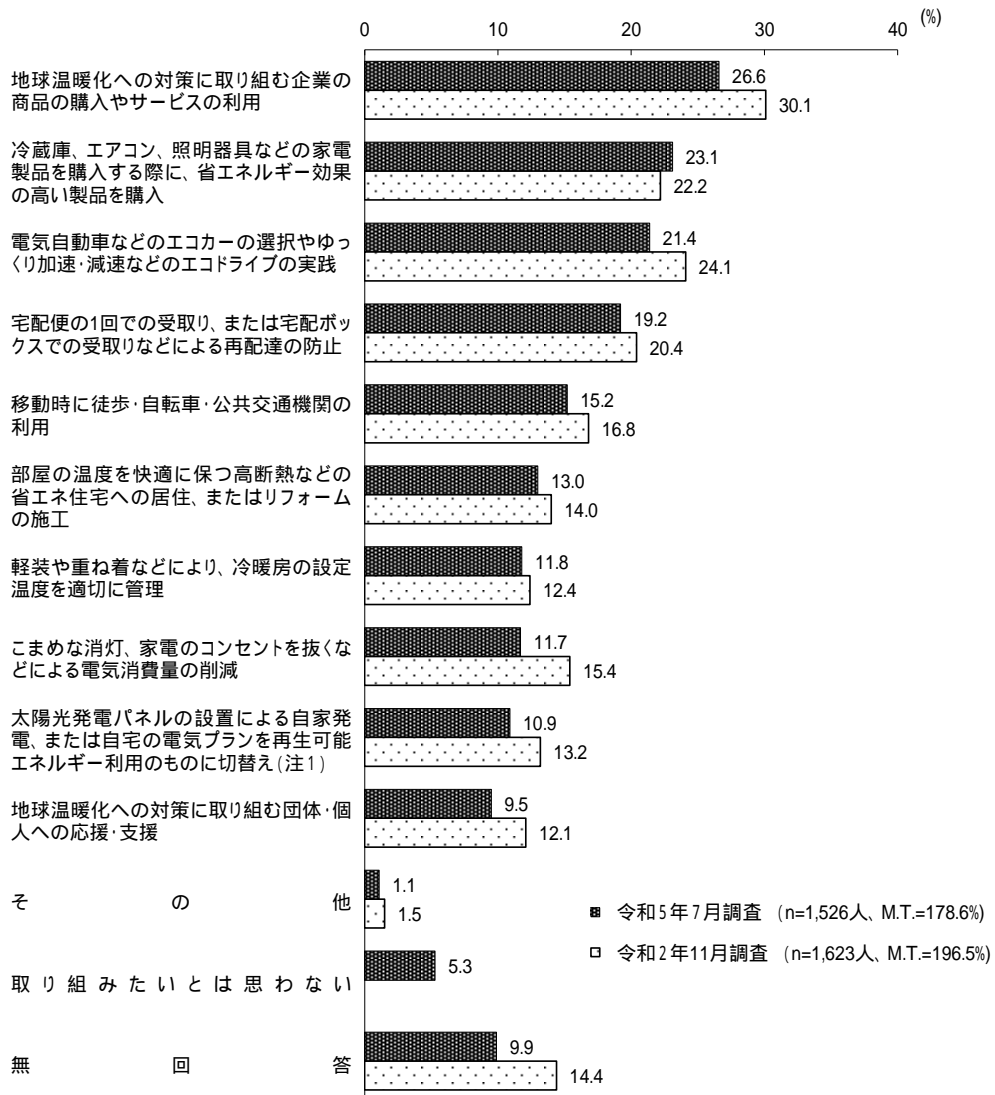
(注2) 令和2年11月調査では、質問文中の「現在、取り組んでいること」は下線されていない。

(4) 日常生活で行いたい脱炭素社会の実現に向けた取組

問10 「脱炭素社会」の実現に向け、あなたが日常生活の中で、今後、新たに取り組んでみたいと思うことはありますか。(はいいくつかでも。ただし、選択肢1~10のうち問9で回答したものと同一取組は選択できません。)

	令和2年11月	(上位4項目) 令和5年7月
・地球温暖化への対策に取り組む企業の商品の購入やサービスの利用	30.1%	26.6%
・冷蔵庫、エアコン、照明器具などの家電製品を購入する際に、省エネルギー効果の高い製品を購入	22.2%	23.1%
・電気自動車などのエコカーの選択やゆっくり加速・減速などのエコドライブの実践	24.1%	21.4%
・宅配便の1回での受取り、または宅配ボックスでの受取りなどによる再配達の防止	20.4%	19.2%

〔 令和2年11月調査では、「脱炭素社会」の実現に向け、一人一人が二酸化炭素などの排出を減らす取組について、「積極的に取り組みたい」、「ある程度取り組みたい」と答えた者に、複数回答
令和5年7月調査では、全員の者に、複数回答 〕



(注1) 令和2年11月調査では、「太陽光発電パネルの設置による自家発電、又は自宅の電気を再生可能エネルギーに切替え」となっている。

(注2) 令和2年11月調査では、「「脱炭素社会」の実現に向け、日常生活の中で、現在取り組んでいないことで、今後、新たに取り組んでみたいと思うことはありますか。(はいいくつかでも)」と聞いている。

表 10 - 1 日常生活で行いたい脱炭素社会の実現に向けた取組

(複数回答)

	該 当 者 数	日常生活で行いたい脱炭素社会の実現に向けた取組											計 (M.T.) %		
		地球温暖化への対策に取り組み企業の購入やサービスの利用	冷蔵庫、エアコン、照明器具などの家電製品を購入する際に、省エネルギー効果の高い製品を購入	減速などのエコドライブの実践	電気自動車などのエコカーの選択やゆっくり加速・減速	受取りなどによる再配達防止	移動時に徒歩・自転車・公共交通機関の利用	部屋の温度を快適に保つ高断熱などの省エネ住宅への居住、またはリフォームの施工	軽装や重ね着などにより、冷暖房の設定温度を適切に管理	こまめな消灯、家電のコンセントを抜くなどによる電気消費量の削減	切替え(注1)	太陽光発電パネルの設置による自家発電、または自宅の電気プランを再生可能エネルギー利用のものに切替え		地球温暖化への対策に取り組み団体・個人への応援・支援	その他
総数	1,526	26.6	23.1	21.4	19.2	15.2	13.0	11.8	11.7	10.9	9.5	1.1	5.3	9.9	178.6
〔都市規模〕															
大都市	439	27.8	21.4	20.7	21.6	11.4	15.3	10.7	11.6	11.6	10.7	1.6	5.7	8.0	178.1
東京都	109	33.0	23.9	19.3	25.7	8.3	15.6	8.3	11.9	11.9	7.3	1.8	7.3	6.4	180.7
政令指定都市	330	26.1	20.6	21.2	20.3	12.4	15.2	11.5	11.5	11.5	11.8	1.5	5.2	8.5	177.3
中都市	623	27.1	25.4	22.5	17.8	17.2	12.7	11.9	10.6	11.9	8.8	0.8	6.4	8.8	181.9
小都市	324	23.8	21.6	18.5	19.8	16.7	12.0	12.7	13.6	8.6	10.5	1.2	3.4	12.0	174.4
町村	140	27.1	21.4	25.0	16.4	15.0	9.3	12.9	12.1	9.3	6.4	0.7	3.6	15.7	175.0
〔性別〕															
男性	719	23.5	23.4	22.9	15.9	15.3	15.0	11.7	10.6	12.8	8.9	1.5	7.0	9.2	177.6
女性	807	29.4	22.8	20.0	22.2	15.1	11.2	11.9	12.6	9.2	10.0	0.7	3.8	10.5	179.4
〔年齢〕															
18～29歳	116	29.3	22.4	24.1	24.1	19.0	11.2	19.0	16.4	10.3	9.5	2.6	9.5	1.7	199.1
30～39歳	165	23.6	29.1	27.3	23.0	13.3	18.2	7.9	15.2	12.7	9.1	-	7.9	1.2	188.5
40～49歳	271	27.7	26.6	24.4	19.9	14.0	12.5	11.8	11.4	14.4	9.6	0.4	7.7	3.7	184.1
50～59歳	260	31.2	25.4	27.3	21.2	19.6	15.0	11.2	10.8	11.2	11.5	1.9	3.8	3.5	193.5
60～69歳	277	29.2	19.5	22.0	18.4	13.0	15.2	12.6	11.6	11.9	9.0	0.7	3.6	9.4	176.2
70歳以上	437	22.0	19.7	12.6	15.3	14.4	9.2	11.2	9.8	7.3	8.7	1.4	3.7	23.3	158.6

表 10 - 2 日常生活で行いたい脱炭素社会の実現に向けた取組 (時系列)

令和2年11月調査では、「脱炭素社会」の実現に向け、一人一人が二酸化炭素などの排出を減らす取組について、「積極的に取り組みたい」、「ある程度取り組みたい」と答えた者に、複数回答
令和5年7月調査では、全員の者に、複数回答

	該 当 者 数	日常生活で行いたい脱炭素社会の実現に向けた取組											計 (M.T.) %	
		地球温暖化への対策に取り組み企業の購入やサービスの利用	冷蔵庫、エアコン、照明器具などの家電製品を購入する際に、省エネルギー効果の高い製品を購入	減速などのエコドライブの実践	電気自動車などのエコカーの選択やゆっくり加速・減速	受取りなどによる再配達防止	移動時に徒歩・自転車・公共交通機関の利用	部屋の温度を快適に保つ高断熱などの省エネ住宅への居住、またはリフォームの施工	軽装や重ね着などにより、冷暖房の設定温度を適切に管理	こまめな消灯、家電のコンセントを抜くなどによる電気消費量の削減	切替え(注1)	太陽光発電パネルの設置による自家発電、または自宅の電気プランを再生可能エネルギー利用のものに切替え		地球温暖化への対策に取り組み団体・個人への応援・支援
令和2年11月調査	1,623	30.1	22.2	24.1	20.4	16.8	14.0	12.4	15.4	13.2	12.1	1.5	14.4	196.5
令和5年7月調査	1,526	26.6	23.1	21.4	19.2	15.2	13.0	11.8	11.7	10.9	9.5	1.1	5.3	178.6

(注1) 令和2年11月調査では、「太陽光発電パネルの設置による自家発電、又は自宅の電気を再生可能エネルギーに切替え」となっている。

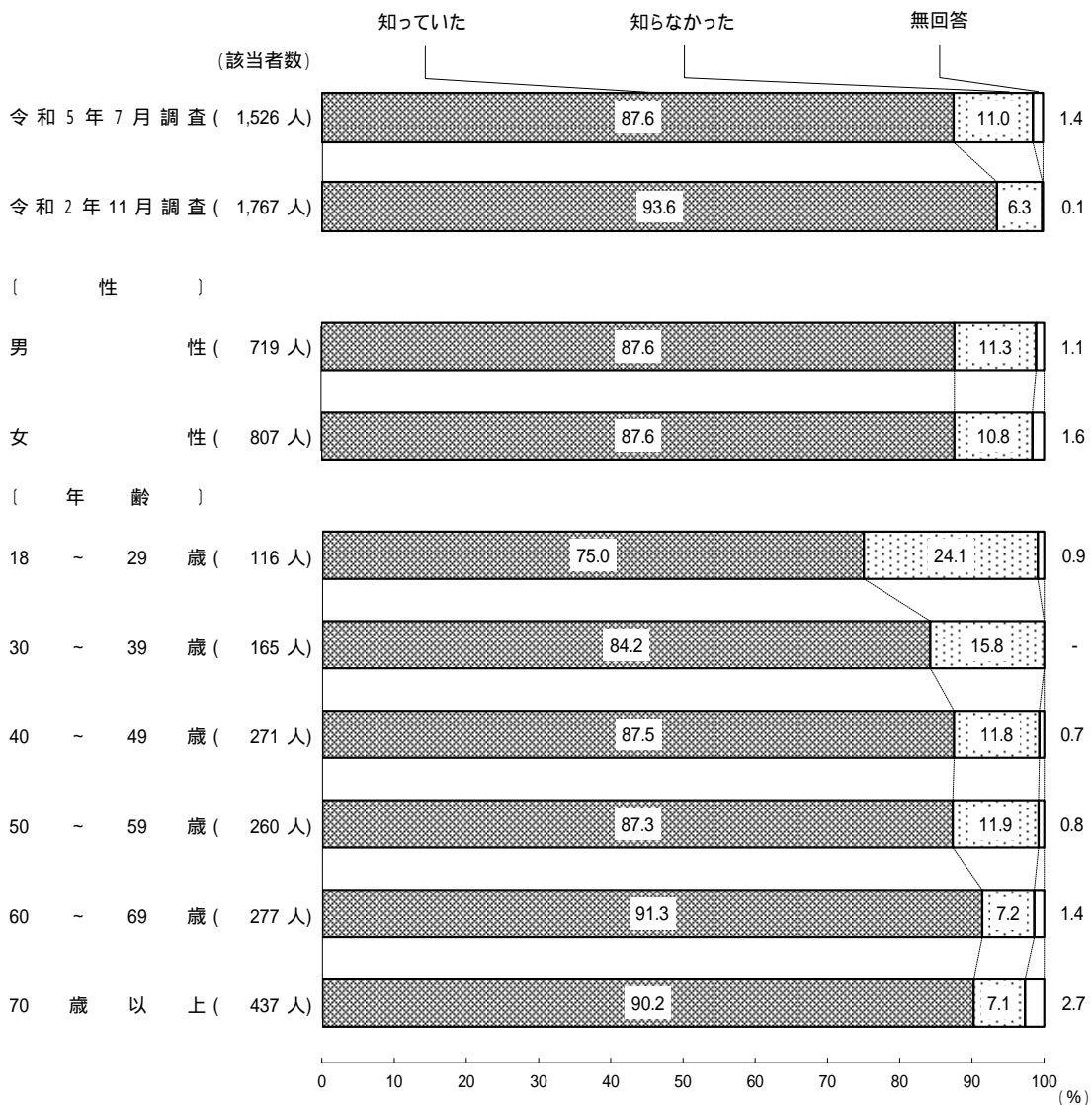
(注2) 令和2年11月調査では、「脱炭素社会」の実現に向け、日常生活の中で、現在取り組んでいないことで、今後、新たに取り組んでみたいと思うことはありますか。(はいくつでも)と聞いている。

3 気候変動影響について

(1) 気候変動影響の認知度

問11. 地球温暖化などの気候変動は、農作物の品質低下、野生生物の生息域の変化、大雨の頻発化に伴う水害リスクの増加、熱中症搬送者数の増加といった形で、私たちの暮らしの様々なところに影響を与えています。このような気候変動による影響を「気候変動影響」といいます。あなたは、地球温暖化などの気候変動により、このような様々な影響が出ることを知っていましたか。(は1つ)

	令和2年11月	令和5年7月
・知っていた	93.6%	87.6%
・知らなかった	6.3%	11.0%



(注) 令和2年11月調査では、「気候変動は、農作物の品質低下、野生生物の生息域の変化、大雨の頻発化に伴う水害リスクの増加、熱中症搬送者の増加といった形で、私たちの暮らしの様々なところに影響を与えています。あなたは、地球温暖化などの気候変動により、このような様々な影響が出ることを知っていましたか。」と聞いている。

表 11 - 1 気候変動影響の認知度

	該 当 者 数	知 っ て い た	知 ら な か っ た	無 回 答
	人	%	%	%
総 〔都市規模〕 大 東 京 都 区 政 令 指 定 都 中 都 市 小 都 市 町 村 〔性〕 男 性 女 性 〔年 齢〕 18 ~ 29 歳 30 ~ 39 歳 40 ~ 49 歳 50 ~ 59 歳 60 ~ 69 歳 70 歳 以 上	1,526 439 109 330 623 324 140 719 807 116 165 271 260 277 437	87.6 88.6 89.9 88.2 87.6 89.5 80.0 87.6 87.6 75.0 84.2 87.5 87.3 91.3 90.2	11.0 10.5 10.1 10.6 11.1 9.0 17.1 11.3 10.8 24.1 15.8 11.8 11.9 7.2 7.1	1.4 0.9 - 1.2 1.3 1.5 2.9 1.1 1.6 0.9 - 0.7 0.8 1.4 2.7

表 11 - 2 気候変動影響の認知度（時系列）

	該 当 者 数	知 っ て い た	知 ら な か っ た	無 回 答
	人	%	%	%
令 和 2 年 11 月 調 査	1,767	93.6	6.3	0.1
令 和 5 年 7 月 調 査	1,526	87.6	11.0	1.4

（注）令和2年11月調査では、「気候変動は、農作物の品質低下、野生生物の生息域の変化、大雨の頻発化に伴う水害リスクの増加、熱中症搬送者の増加といった形で、私たちの暮らしの様々なところに影響を与えています。あなたは、地球温暖化などの気候変動により、このような様々な影響が出ることを知っていましたか。」と聞いている。

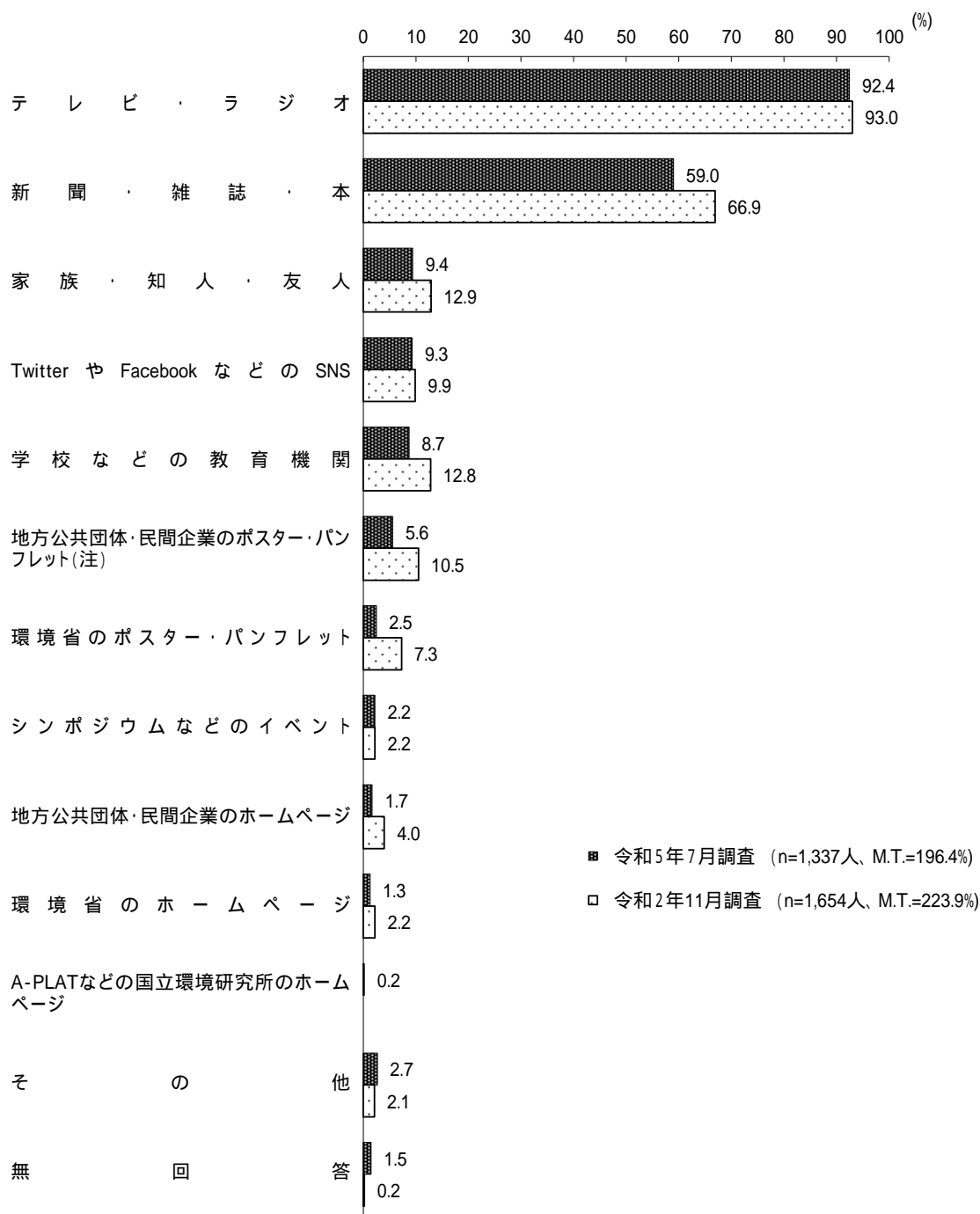
ア 気候変動影響の情報の入手方法

(問11で「知っていた」と答えた者に)

問12. 気候変動影響について何で知りましたか。(はいくつでも)

	令和2年11月	(上位2項目) 令和5年7月
・テレビ・ラジオ	93.0%	92.4%
・新聞・雑誌・本	66.9%	59.0%

(地球温暖化などの気候変動により、様々な影響が出ることを「知っていた」と答えた者に、複数回答)



(注) 令和2年11月調査では、「地方公共団体や民間企業などのポスター・パンフレット」となっている。

表 12 - 1 気候変動影響の情報の入手方法

(地球温暖化などの気候変動により、様々な影響が出ることを「知っていた」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	テ レ ビ ・ ラ ジ オ	新 聞 ・ 雑 誌 ・ 本	家 族 ・ 知 人 ・ 友 人	T w i t t e r や F a c e b o o k な ど の S N S	学 校 な ど の 教 育 機 関	地 方 公 共 団 体 ・ 民 間 企 業 の ポ ス ター ・ パ ン フ レ ット	環 境 省 の ポ ス ター ・ パ ン フ レ ット	シ ン ポ ジ ウム な ど の イ ベ ン ト	地 方 公 共 団 体 ・ 民 間 企 業 の ホ ー ム ペ ー ジ	環 境 省 の ホ ー ム ペ ー ジ	A P L A T な ど の 国 立 環 境 研 究 所 の ホ ー ム ペ ー ジ	そ の 他	無 回 答	計 (M. T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数 〔都市規模〕	1,337	92.4	59.0	9.4	9.3	8.7	5.6	2.5	2.2	1.7	1.3	0.2	2.7	1.5	196.4
大都市	389	90.7	54.5	11.3	12.1	10.3	4.9	2.6	3.1	1.8	1.5	0.3	4.1	0.8	197.9
東京都区部	98	89.8	60.2	10.2	17.3	10.2	1.0	2.0	4.1	-	1.0	-	6.1	2.0	204.1
政令指定都市	291	91.1	52.6	11.7	10.3	10.3	6.2	2.7	2.7	2.4	1.7	0.3	3.4	0.3	195.9
中都市	546	94.1	61.0	7.9	8.2	7.5	4.8	2.0	0.5	1.8	1.1	0.4	1.8	0.9	192.1
小都市	290	91.0	60.7	7.6	10.0	7.6	5.9	2.4	3.4	1.4	1.7	-	2.4	2.8	196.9
町村	112	92.9	60.7	15.2	2.7	11.6	11.6	4.5	3.6	1.8	-	-	2.7	3.6	210.7
〔性別〕															
男性	630	91.7	63.3	7.1	9.4	6.2	6.7	2.9	3.2	2.5	2.1	0.5	3.5	1.1	200.2
女性	707	92.9	55.2	11.5	9.2	10.9	4.7	2.1	1.3	1.0	0.6	-	2.0	1.8	193.1
〔年齢〕															
18～29歳	87	77.0	23.0	6.9	28.7	50.6	3.4	2.3	2.3	-	1.1	-	-	-	195.4
30～39歳	139	89.2	36.0	6.5	18.7	20.9	3.6	2.2	-	1.4	0.7	1.4	5.8	0.7	187.1
40～49歳	237	92.0	48.5	8.0	13.1	9.7	2.1	2.5	2.5	3.4	1.3	0.4	3.8	0.8	188.2
50～59歳	227	92.1	60.8	8.8	11.5	4.0	3.1	2.6	1.3	2.2	1.8	-	4.0	0.4	192.5
60～69歳	253	96.0	68.8	9.9	3.6	2.8	5.9	2.4	2.8	2.0	0.4	-	1.6	2.0	198.0
70歳以上	394	94.9	74.1	11.9	1.8	1.0	10.2	2.5	2.8	0.8	1.8	-	1.5	2.8	206.1

表 12 - 2 気候変動影響の情報の入手方法（時系列）

(地球温暖化などの気候変動により、様々な影響が出ることを「知っていた」と答えた者に、複数回答)

	該 当 者 数	テ レ ビ ・ ラ ジ オ	新 聞 ・ 雑 誌 ・ 本	家 族 ・ 知 人 ・ 友 人	T w i t t e r や F a c e b o o k な ど の S N S	学 校 な ど の 教 育 機 関	地 方 公 共 団 体 ・ 民 間 企 業 の ポ ス ター ・ パ ン フ レ ット (注)	環 境 省 の ポ ス ター ・ パ ン フ レ ット	シ ン ポ ジ ウム な ど の イ ベ ン ト	地 方 公 共 団 体 ・ 民 間 企 業 の ホ ー ム ペ ー ジ	環 境 省 の ホ ー ム ペ ー ジ	A P L A T な ど の 国 立 環 境 研 究 所 の ホ ー ム ペ ー ジ	そ の 他	無 回 答	計 (M. T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
令和2年11月調査	1,654	93.0	66.9	12.9	9.9	12.8	10.5	7.3	2.2	4.0	2.2		2.1	0.2	223.9
令和5年7月調査	1,337	92.4	59.0	9.4	9.3	8.7	5.6	2.5	2.2	1.7	1.3	0.2	2.7	1.5	196.4

(注) 令和2年11月調査では、「地方公共団体や民間企業などのポスター・パンフレット」となっている。

(2) 日常生活で感じる気候変動影響

問13. あなたが、日常生活の中で気候変動影響を感じることは何ですか。(はいいくつでも)

	令和2年11月	(上位4項目) 令和5年7月
・夏の暑さ	89.8%	94.8%
・雨の降り方の激しさ	81.6%	79.6%
・桜の開花時期など身近な植物の変化	38.5%	39.2%
・冬の寒さや雪の降り方	36.8%	30.1%

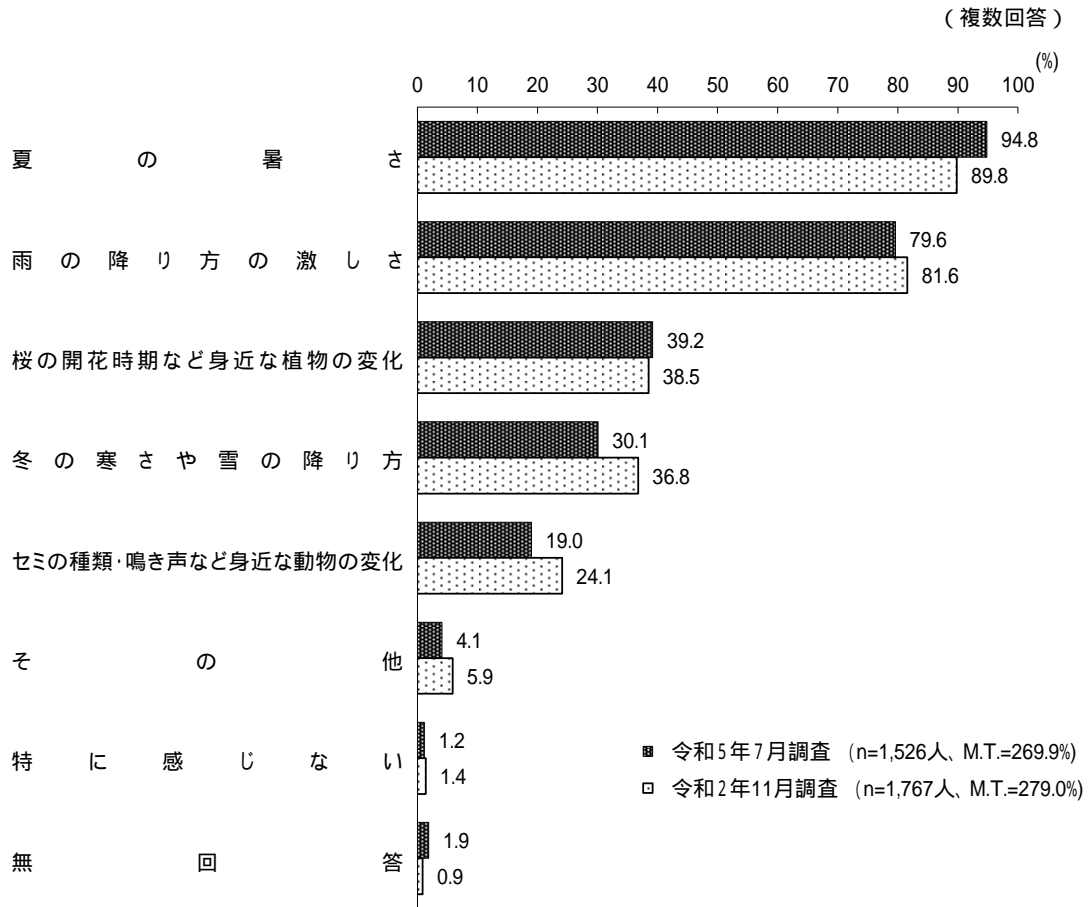


表 13 - 1 日常生活で感じる気候変動影響

(複数回答)

	該 当 者 数	夏 の 暑 さ	雨 の 降 り 方 の 激 し さ	桜 の 開 花 時 期 な ど 身 近 な 植 物 の 変 化	冬 の 寒 さ や 雪 の 降 り 方	動 セ 物 の 種 類 の 変 化 ・ 鳴 き 声 な ど 身 近 な	そ の 他	特 に 感 じ な い	無 回 答	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総 〔都市規模〕 大 東 都 市 京 都 区 部 政 令 指 定 都 市 中 都 市 小 都 市 町 村 〔性〕 男 性 女 性 〔年 齢〕 18 ~ 29 歳 30 ~ 39 歳 40 ~ 49 歳 50 ~ 59 歳 60 ~ 69 歳 70 歳 以 上	1,526 439 109 330 623 324 140 719 807 116 165 271 260 277 437	94.8 96.4 95.4 96.7 94.7 93.8 92.9 93.7 95.8 97.4 95.8 96.3 93.8 93.9 94.1	79.6 81.8 82.6 81.5 78.0 79.0 81.4 80.7 78.7 53.4 75.2 81.5 83.8 86.6 80.1	39.2 40.5 47.7 38.2 39.2 39.5 34.3 32.8 44.9 25.0 24.8 35.1 35.8 46.2 48.5	30.1 26.9 11.0 32.1 30.2 32.7 33.6 27.3 32.6 22.4 24.8 22.9 29.2 35.4 35.7	19.0 20.0 21.1 19.7 16.9 20.7 21.4 17.4 20.4 13.8 15.8 14.8 20.8 18.8 23.3	4.1 4.8 8.3 3.6 3.7 4.0 4.3 3.8 4.5 0.9 3.0 4.4 5.4 4.0 4.6	1.2 0.9 0.9 0.9 1.6 0.9 0.7 1.5 0.9 1.7 1.2 1.1 0.8 1.8 0.9	1.9 0.7 - 0.9 1.9 2.2 5.0 1.7 2.1 - 1.2 1.1 1.5 2.2 3.2	269.9 272.0 267.0 273.6 266.1 272.8 273.6 258.8 279.8 214.7 241.8 257.2 271.2 288.8 290.4

表 13 - 2 日常生活で感じる気候変動影響 (時系列)

(複数回答)

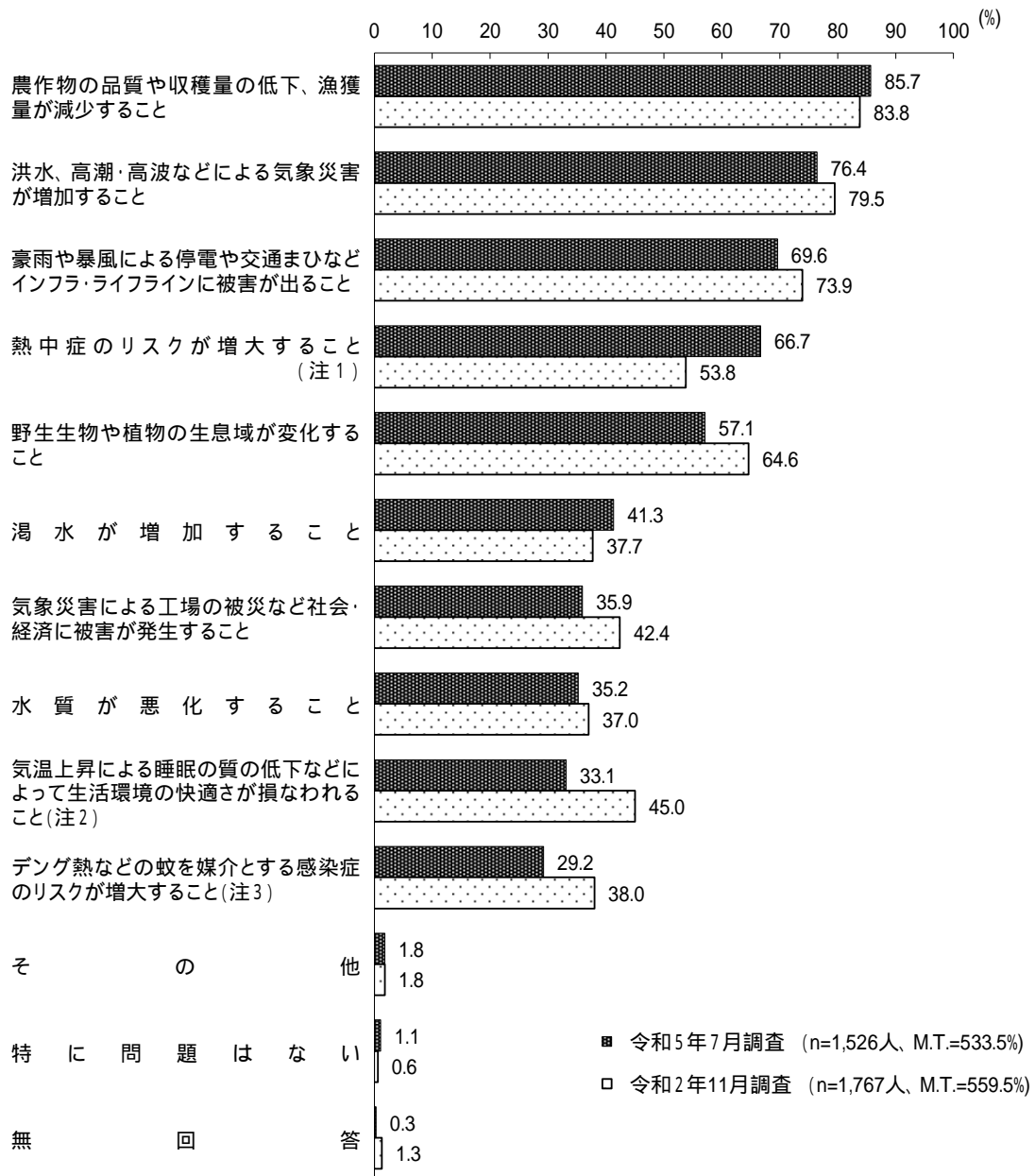
	該 当 者 数	夏 の 暑 さ	雨 の 降 り 方 の 激 し さ	桜 の 開 花 時 期 な ど 身 近 な 植 物 の 変 化	冬 の 寒 さ や 雪 の 降 り 方	動 セ 物 の 種 類 の 変 化 ・ 鳴 き 声 な ど 身 近 な	そ の 他	特 に 感 じ な い	無 回 答	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
令 和 2 年 11 月 調 査	1,767	89.8	81.6	38.5	36.8	24.1	5.9	1.4	0.9	279.0
令 和 5 年 7 月 調 査	1,526	94.8	79.6	39.2	30.1	19.0	4.1	1.2	1.9	269.9

(3) 問題だと思う気候変動影響

問14. 地球温暖化などの気候変動は、将来にわたって自然や人間生活に以下のような様々な影響を与えることが予測されています。あなたは、どのような影響を問題だと思いますか。
(はいいくつでも)

	令和2年11月	(上位4項目) 令和5年7月
・農作物の品質や収穫量の低下、漁獲量が減少すること	83.8%	85.7%
・洪水、高潮・高波などによる気象災害が増加すること	79.5%	76.4%
・豪雨や暴風による停電や交通まひなどインフラ・ライフラインに被害が出ること	73.9%	69.6%
・熱中症のリスクが増大すること	53.8%	66.7%

(複数回答)



(注1) 令和2年11月調査では、「熱中症が増加すること」となっている。

(注2) 令和2年11月調査では、「生活環境の快適さが損なわれること」となっている。

(注3) 令和2年11月調査では、「デング熱などの蚊を媒介とする感染症が増加すること」となっている。

表 14 - 1 問題だと思う気候変動影響

(複数回答)

	該当者数	問題だと思う気候変動影響														計 (M.T.)
		農作物の品質や収獲量の低下、漁獲量が減少すること	洪水、高潮・高波などによる気象災害が増加すること	豪雨や暴風による停電や交通まひなどインフラ・ライフラインに被害がでること	熱中症のリスクが増大すること	野生生物や植物の生息域が変化すること	湧水が増加すること	気象災害による工場の被災など社会・経済に被害が発生すること	水質が悪化する	生活環境の快適さが損なわれること	気温上昇による睡眠の質の低下などによって	デング熱などの蚊を媒介とする感染症のリスクが増大すること	その他	特に問題はない	無回答	
総数	1,526	85.7	76.4	69.6	66.7	57.1	41.3	35.9	35.2	33.1	29.2	1.8	1.1	0.3	533.5	
〔都市規模〕																
大都市	439	89.5	77.7	72.2	67.4	61.0	48.5	40.1	41.5	33.9	33.5	2.1	1.1	-	568.6	
東京都区部	109	86.2	78.9	76.1	67.0	64.2	54.1	32.1	43.1	32.1	33.0	1.8	1.8	-	570.6	
政令指定都市	330	90.6	77.3	70.9	67.6	60.0	46.7	42.7	40.9	34.5	33.6	2.1	0.9	-	567.9	
中都市	623	83.9	75.8	70.1	65.7	56.7	39.0	35.6	31.6	32.6	27.3	1.3	1.4	0.2	521.2	
小都市	324	84.6	73.5	64.5	64.8	53.4	36.7	32.7	34.3	32.4	26.9	2.8	0.6	0.9	508.0	
町	140	84.3	82.1	70.7	73.6	55.0	40.0	31.4	33.6	34.3	30.0	1.4	0.7	-	537.1	
〔性〕																
男性	719	83.0	75.0	66.8	62.2	53.1	37.8	33.4	27.4	29.1	25.3	1.8	1.7	0.1	496.7	
女性	807	88.1	77.7	72.1	70.8	60.6	44.5	38.2	42.1	36.7	32.7	1.9	0.6	0.4	566.3	
〔年齢〕																
18～29歳	116	72.4	64.7	44.8	70.7	53.4	33.6	37.9	32.8	31.0	26.7	0.9	2.6	-	471.6	
30～39歳	165	83.0	69.7	66.1	72.7	58.8	43.6	39.4	44.2	28.5	37.0	0.6	1.8	-	545.5	
40～49歳	271	83.8	74.5	70.5	65.3	62.0	43.2	35.1	36.5	28.4	32.1	2.6	1.5	0.4	535.8	
50～59歳	260	86.9	78.8	69.2	63.8	59.2	45.0	35.4	41.9	33.5	35.0	2.7	0.8	0.4	552.7	
60～69歳	277	87.4	81.6	77.3	66.8	60.6	39.4	37.9	27.1	35.4	31.4	1.8	1.1	0.4	548.0	
70歳以上	437	89.7	78.5	72.3	65.9	50.8	40.5	33.6	32.7	36.6	20.4	1.6	0.5	0.2	523.3	

表 14 - 2 問題だと思う気候変動影響 (時系列)

(複数回答)

	該当者数	問題だと思う気候変動影響														計 (M.T.)
		農作物の品質や収獲量の低下、漁獲量が減少すること	洪水、高潮・高波などによる気象災害が増加すること	豪雨や暴風による停電や交通まひなどインフラ・ライフラインに被害がでること	熱中症のリスクが増大すること (注1)	野生生物や植物の生息域が変化すること	湧水が増加すること	気象災害による工場の被災など社会・経済に被害が発生すること	水質が悪化する	生活環境の快適さが損なわれること	気温上昇による睡眠の質の低下などによって	デング熱などの蚊を媒介とする感染症のリスクが増大すること	その他	特に問題はない	無回答	
令和2年11月調査	1,767	83.8	79.5	73.9	53.8	64.6	37.7	42.4	37.0	45.0	38.0	1.8	0.6	1.3	559.5	
令和5年7月調査	1,526	85.7	76.4	69.6	66.7	57.1	41.3	35.9	35.2	33.1	29.2	1.8	1.1	0.3	533.5	

(注1) 令和2年11月調査では、「熱中症が増加すること」となっている。

(注2) 令和2年11月調査では、「生活環境の快適さが損なわれること」となっている。

(注3) 令和2年11月調査では、「デング熱などの蚊を媒介とする感染症が増加すること」となっている。

表 14 - 参考 1 地球温暖化がもたらす影響への関心

(複数回答)

該当者数	洪水、高潮・高波などの自然災害が増加すること	農作物の品質や収量が低下すること	野生生物や植物の生息域が変化すること	生活環境の快適さが損なわれること	豪雨による停電や交通マヒなどインフラ・ライフラインに被害が出ること	熱中症が増加すること	感染症が増加すること	濁水が増加すること	水質が悪化する	工場や生産設備への被害	その他	特に関題はない	わかからな	計 (M.T.)	
平成28年8月調査	1,816	63.1%	57.7%	48.5%	46.2%	44.9%	43.2%	34.6%	32.8%	30.2%	17.0%	0.6%	1.4%	1.4%	421.4%

(注1) 「わが国でも、すでに地球温暖化による猛暑や豪雨などが観測されており、将来にわたって自然や人間生活に様々な影響を与えることが予測されています。あなたは、どのような影響を問題だと感じますか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

(注2) 平成28年8月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和2年11月調査以降との単純比較は行わない。

表 14 - 参考 2 温暖化のもたらす影響への関心

(複数回答)

該当者数	海面の上昇により沿岸域の地形や施設が被害を受けること	多くの動植物が絶滅するなど生態系が変化すること	穀物などの農作物の収穫量が減ること	雨の量や川の流量が大きく変わること	異常気象による自然災害に対し、保険の支払額が増えること	進捗の遅れやマンングロープ林の水没が	マラリアや熱中症などの被害が拡大すること	その他	特に関題はない	わかからな	計 (M.T.)	
平成17年7月調査	1,626	62.6%	53.3%	51.7%	55.2%	30.8%	28.7%	21.5%	0.7%	1.5%	2.8%	308.9%
平成19年8月調査	1,805	70.9%	60.5%	56.8%	53.2%	34.7%	33.7%	31.1%	0.4%	0.8%	1.7%	343.9%

(注) 「地球温暖化によって、自然界や人間生活に様々な影響が出ることが予測されています。あなたは、どのようなことが特に問題であると考えますか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

表 14 - 参考 3 最も深刻と感じる地球温暖化の影響

該当者数	熱帯・亜熱帯では食糧生産量が減少し、半乾燥地域の飢饉、難民の増加が危	降雨と蒸発が盛んになり、洪水や干ばつを激化させる	海面が暖まったり氷河が溶けて海面上昇し、沿岸域に人口が現	マラリアなどの伝染病や花粉症などのアレルギー病が増える	世界の森林のかなりの部分が、現在生きている植物の種類が、現	どれも深刻な影響とは感じない	わかからな	
平成9年6月調査	2,193	24.9%	19.9%	18.5%	14.5%	14.4%	1.5%	6.3%

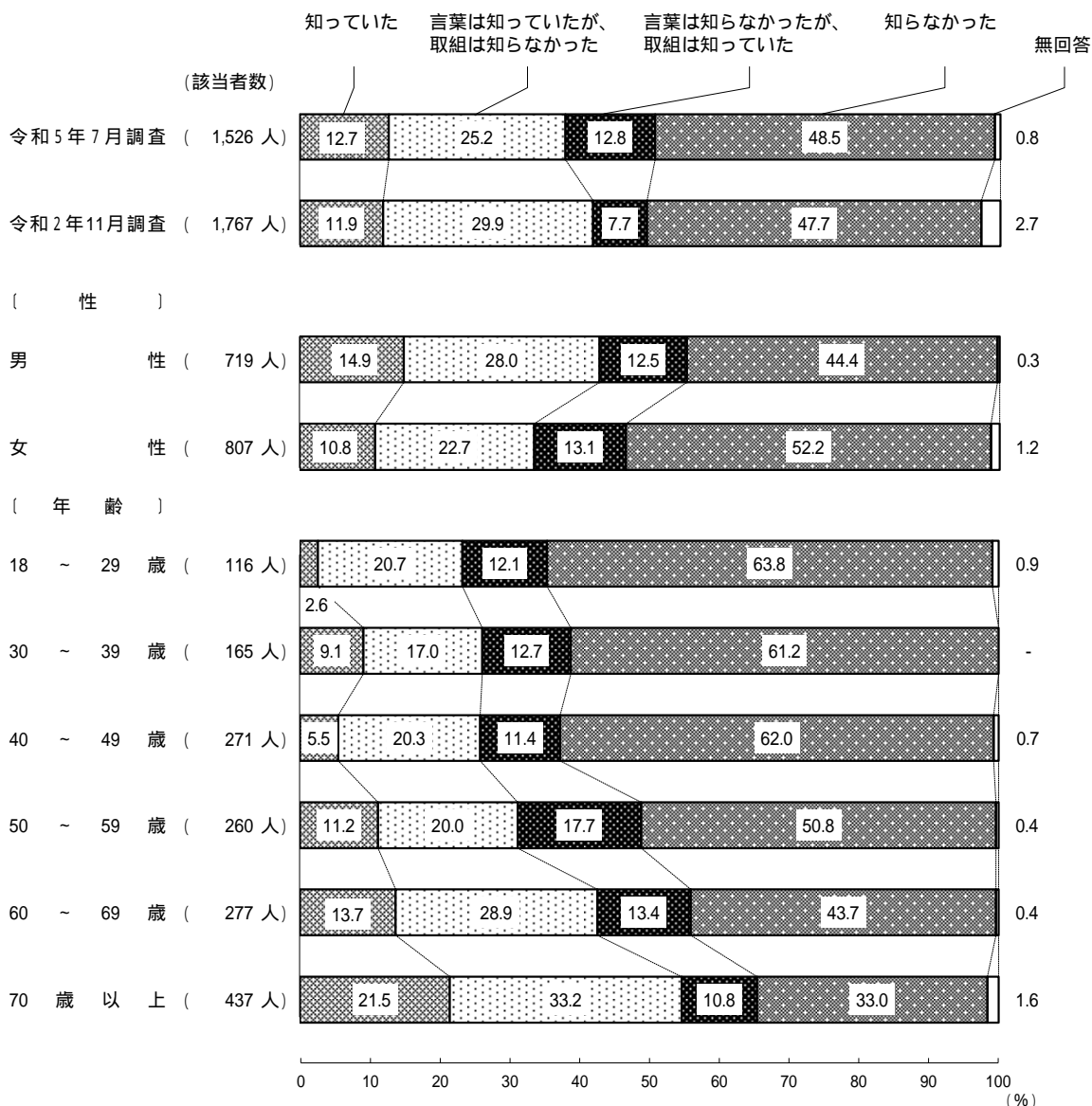
(注) 「地球温暖化が今のまま進行すると、約100年後には次のような悪影響が生じると言われています。これらの中で、あなたが最も深刻だと感じるのはどれですか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

4 気候変動適応について

(1) 気候変動適応の認知度

問15. 気候変動は私たちの生活にも影響を与えています。その影響に対処し、被害を防止・軽減する取組を「気候変動適応」といいます。あなたは、気候変動適応という言葉、その取組を知っていましたか。(は1つ)

	令和2年11月	令和5年7月
・知っていた	11.9%	12.7%
・言葉は知っていたが、取組は知らなかった	29.9%	25.2%
・言葉は知らなかったが、取組は知っていた	7.7%	12.8%
・知らなかった	47.7%	48.5%



(注) 令和2年11月調査では、「気候変動は私たちの生活にも影響を与えています。その影響に対処することを「気候変動適応」といいます。あなたは、気候変動適応という言葉、その取組を知っていましたか。」と聞いている。

表 15 - 1 気候変動適応の認知度

	該 当 者 数	知 っ て い た	知 言 ら な か っ た た が、 取 組 は	は 言 知 ら な か っ た た が、 取 組	知 ら な か っ た	無 回 答
	人	%	%	%	%	%
総数 〔都市規模〕	1,526	12.7	25.2	12.8	48.5	0.8
大都市	439	11.8	24.6	12.8	50.1	0.7
東京都区部	109	16.5	24.8	13.8	44.0	0.9
政令指定都市	330	10.3	24.5	12.4	52.1	0.6
中都市	623	11.2	24.7	13.2	50.4	0.5
小都市	324	17.0	24.7	13.0	43.5	1.9
町	140	12.1	30.0	11.4	46.4	-
〔性〕						
男性	719	14.9	28.0	12.5	44.4	0.3
女性	807	10.8	22.7	13.1	52.2	1.2
〔年齢〕						
18～29歳	116	2.6	20.7	12.1	63.8	0.9
30～39歳	165	9.1	17.0	12.7	61.2	-
40～49歳	271	5.5	20.3	11.4	62.0	0.7
50～59歳	260	11.2	20.0	17.7	50.8	0.4
60～69歳	277	13.7	28.9	13.4	43.7	0.4
70歳以上	437	21.5	33.2	10.8	33.0	1.6

表 15 - 2 気候変動適応の認知度（時系列）

	該 当 者 数	知 っ て い た	知 言 ら な か っ た た が、 取 組 は	は 言 知 ら な か っ た た が、 取 組	知 ら な か っ た	無 回 答
	人	%	%	%	%	%
令和2年11月調査	1,767	11.9	29.9	7.7	47.7	2.7
令和5年7月調査	1,526	12.7	25.2	12.8	48.5	0.8

（注）令和2年11月調査では、「気候変動は私たちの生活にも影響を与えています。その影響に対処することを「気候変動適応」といいます。あなたは、気候変動適応という言葉、その取組を知っていましたか。」と聞いている。

表 15 - 参考 気候変動の影響への適応の認知度

	該 当 者 数	知 っ て い た (小さい計)	知 ら な か っ た		知 ら な か っ た (小さい計)	あ ま り 知 ら な か っ た		全 く 知 ら な か っ た	わ か ら な い
			内 容 ま で よ く 知 っ て い た	大 体 知 っ て い た		あ ま り 知 ら な か っ た	全 く 知 ら な か っ た		
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
平成28年8月調査	1,816	47.5	4.3	43.2	52.0	41.9	10.1	0.5	

（注1）「あなたは、地球温暖化がもたらす気候変動への対処について、どのくらい知っていましたか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

（注2）平成28年8月調査は、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和2年11月調査以降との単純比較は行わない。

ア 気候変動適応の情報の入手方法

(問15で「知っていた」、「言葉は知っていたが、取組は知らなかった」、「言葉は知らなかったが、取組は知っていた」と答えた者に)

問16. 気候変動適応の言葉もしくはその取組について何で知りましたか。(はいくつでも)

(上位2項目)

令和5年7月

・テレビ・ラジオ

88.8%

・新聞・雑誌・本

59.6%

(気候変動適応について、「知っていた」、「言葉は知っていたが、取組は知らなかった」、「言葉は知らなかったが、取組は知っていた」と答えた者に、複数回答)

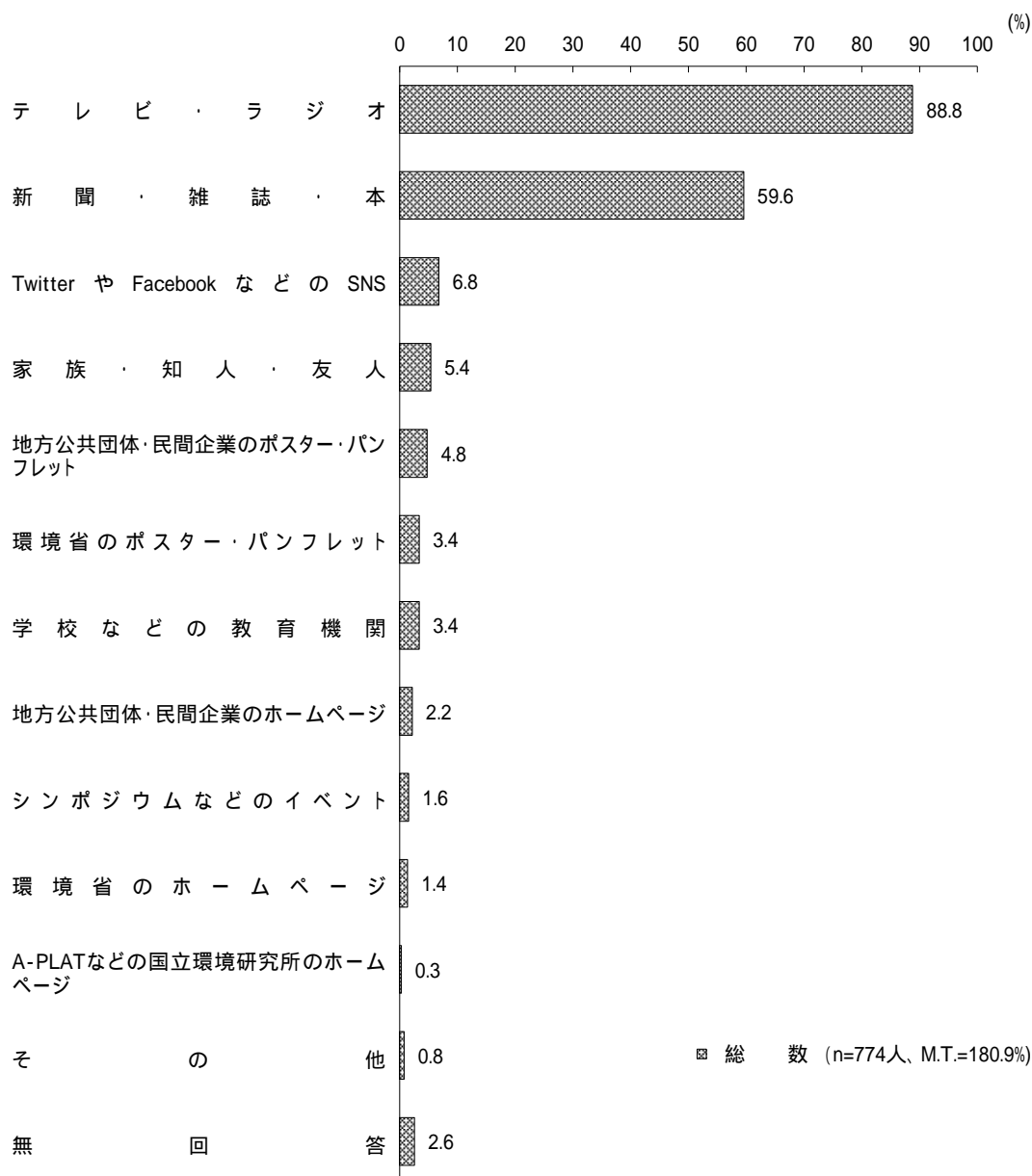


表 16 気候変動適応の情報の入手方法

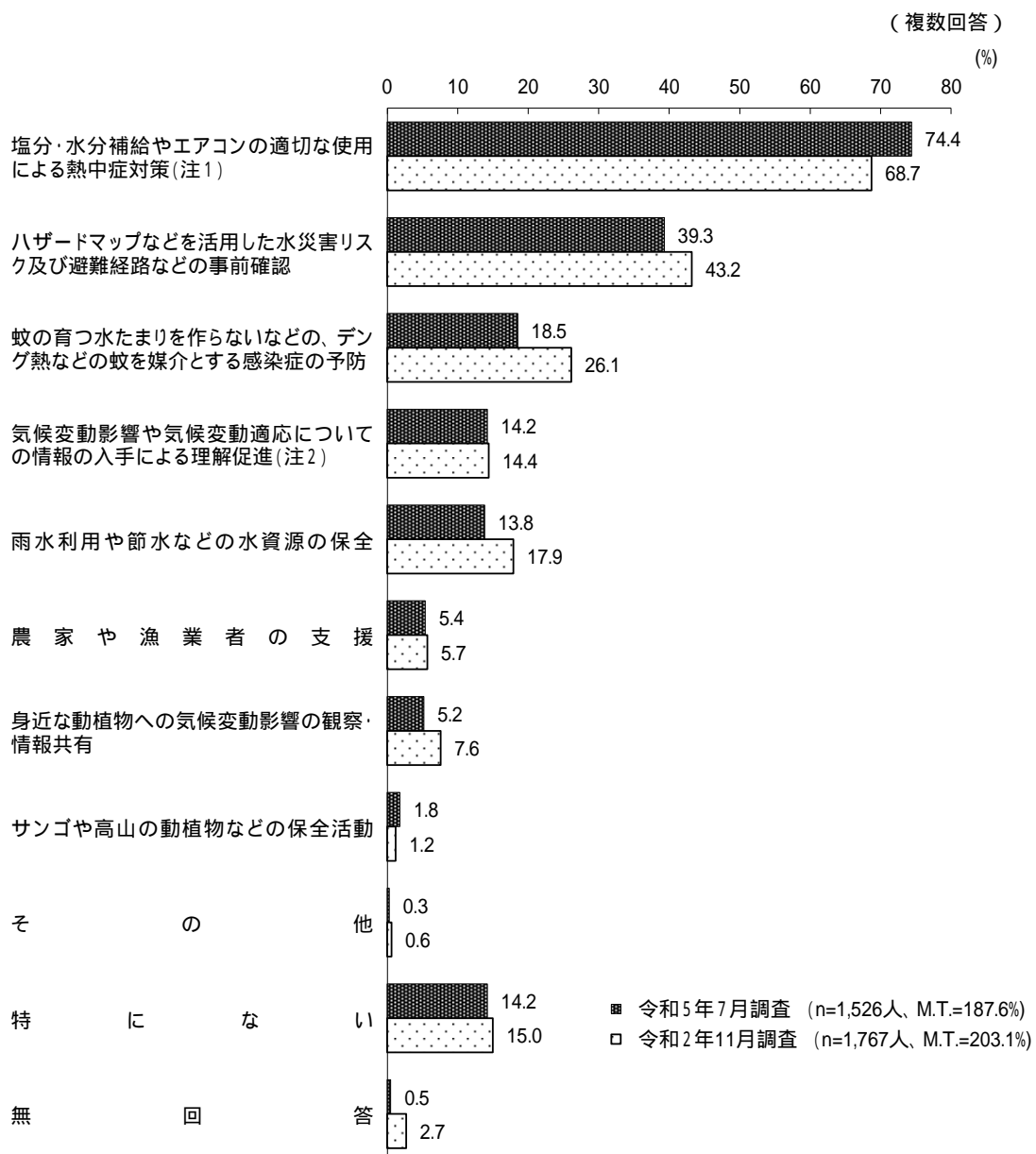
〔気候変動適応について、「知っていた」、「言葉は知っていたが、取組は知らなかった」、「言葉は知らなかったが、取組は知っていた」と答えた者に、複数回答〕

	該 当 者 数	テ レ ビ ・ ラ ジ オ	新 聞 ・ 雑 誌 ・ 本	T w i t t e r や F a c e b o o k な ど の S N S	家 族 ・ 知 人 ・ 友 人	地 方 公 共 団 体 ・ 民 間 企 業 の ポ ス タ ー ・ パ ン フ レ ッ ト	環 境 省 の ポ ス タ ー ・ パ ン フ レ ッ ト	学 校 な ど の 教 育 機 関	地 方 公 共 団 体 ・ 民 間 企 業 の ホ ー ム ペ ー ジ	シ ン ボ ジ ウ ム な ど の イ ベ ン ト	環 境 省 の ホ ー ム ペ ー ジ	A P L A T な ど の 国 立 環 境 研 究 所 の ホ ー ム ペ ー ジ	そ の 他	無 回 答	計 (M. T.)	
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	
総 数	774	88.8	59.6	6.8	5.4	4.8	3.4	3.4	2.2	1.6	1.4	0.3	0.8	2.6	180.9	
〔都市規模〕																
大 都 市	216	85.6	49.5	9.7	7.9	3.7	4.2	4.2	2.8	2.3	2.3	0.5	0.5	4.6	177.8	
東 京 都 区 部	60	86.7	53.3	10.0	8.3	-	1.7	-	-	1.7	1.7	-	-	1.7	165.0	
政 令 指 定 都 市	156	85.3	48.1	9.6	7.7	5.1	5.1	5.8	3.8	2.6	2.6	0.6	0.6	5.8	182.7	
中 都 市	306	88.9	61.1	4.9	2.9	4.9	2.3	3.3	2.6	0.3	0.7	0.3	0.7	2.0	174.8	
小 都 市	177	90.4	65.5	9.0	6.2	6.2	5.1	2.8	1.7	2.8	2.3	-	1.1	1.7	194.9	
町 村	75	93.3	68.0	1.3	6.7	4.0	1.3	2.7	-	1.3	-	-	1.3	1.3	181.3	
〔性〕																
男 性	398	88.7	65.1	8.3	3.0	5.5	3.3	2.5	3.3	2.3	2.0	0.5	1.3	2.5	188.2	
女 性	376	88.8	53.7	5.3	8.0	4.0	3.5	4.3	1.1	0.8	0.8	-	0.3	2.7	173.1	
〔年齢〕																
18 ～ 29 歳	41	78.0	24.4	19.5	2.4	2.4	4.9	22.0	-	-	-	-	-	4.9	158.5	
30 ～ 39 歳	64	87.5	29.7	15.6	-	3.1	6.3	6.3	6.3	1.6	1.6	1.6	-	3.1	162.5	
40 ～ 49 歳	101	86.1	43.6	10.9	4.0	1.0	3.0	4.0	3.0	4.0	-	-	1.0	2.0	162.4	
50 ～ 59 歳	127	84.3	55.9	10.2	4.7	2.4	2.4	3.9	2.4	-	-	-	3.1	1.6	170.9	
60 ～ 69 歳	155	91.6	67.1	5.2	5.2	6.5	2.6	0.6	1.3	1.9	0.6	-	0.6	2.6	185.8	
70 歳 以 上	286	92.0	74.5	1.0	8.0	7.0	3.5	1.0	1.7	1.4	3.1	0.3	-	2.8	196.5	

(2) 実践している気候変動適応への取組

問17. あなたが、現在、実践している気候変動適応への取組は何ですか。(はいくつでも)

	令和2年11月	(上位3項目) 令和5年7月
・塩分・水分補給やエアコンの適切な使用による熱中症対策	68.7%	74.4%
・ハザードマップなどを活用した水災害リスク及び避難経路などの事前確認	43.2%	39.3%
・蚊の育つ水たまりを作らないなどの、デング熱などの蚊を媒介とする感染症の予防	26.1%	18.5%
・特にない	15.0%	14.2%



(注1) 令和2年11月調査では、「塩分・水分補給や空調の適切な使用による熱中症対策」となっている。

(注2) 令和2年11月調査では、「気候変動影響や気候変動適応についての情報の入手」となっている。

(注3) 令和2年11月調査では、質問文中の「現在、実践している気候変動適応への取組」は下線されていない。

表 17 - 1 実践している気候変動適応への取組

(複数回答)

	該 当 者 数	塩分・水分補給やエアコンの適切な使用による熱中症対策	及び避難経路などの事前確認	ハザードマップなどを活用した水災害リスク	蚊の育つ水たまりを作らないなどの、 Dengue などの蚊を媒介とする感染症の予防	の気候変動影響や気候変動適応についての情報の入手による理解促進(注2)	雨水利用や節水などの水資源の保全	農家や漁業者の支援	身近な動植物への気候変動影響の観察・情報共有	サンゴや高山の動植物などの保全活動	その他	特 に な い	無 回 答	計 (M.T.) %
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総〔都市規模〕	1,526	74.4	39.3	18.5	14.2	13.8	5.4	5.2	1.8	0.3	14.2	0.5	187.6	
大都市	439	73.6	38.5	19.6	14.1	10.9	4.1	4.3	2.1	0.5	13.7	0.2	181.5	
東京都	109	69.7	45.9	30.3	10.1	11.0	6.4	7.3	4.6	0.9	14.7	-	200.9	
政令指定都市	330	74.8	36.1	16.1	15.5	10.9	3.3	3.3	1.2	0.3	13.3	0.3	175.2	
中都市	623	74.5	39.2	18.9	13.8	14.1	5.0	5.8	1.6	0.3	15.1	0.3	188.6	
小都市	324	73.8	38.0	17.3	15.7	15.4	7.4	4.6	1.9	0.3	15.4	1.2	191.0	
町	140	77.9	45.7	15.7	12.9	17.9	6.4	6.4	1.4	-	9.3	0.7	194.3	
〔性〕														
男	719	67.7	36.4	15.3	17.8	12.0	5.3	5.7	1.9	0.4	18.4	0.4	181.4	
女	807	80.3	41.9	21.3	11.0	15.5	5.5	4.7	1.6	0.2	10.5	0.6	193.2	
〔年 齢〕														
18 ~ 29 歳	116	53.4	24.1	3.4	8.6	8.6	1.7	1.7	1.7	-	34.5	-	137.9	
30 ~ 39 歳	165	65.5	34.5	7.9	3.6	7.3	1.8	4.2	3.6	-	24.8	-	153.3	
40 ~ 49 歳	271	68.3	39.9	11.1	8.1	8.9	4.4	2.6	1.1	0.4	19.6	0.4	164.6	
50 ~ 59 歳	260	73.5	48.8	17.3	15.0	11.5	2.7	6.2	0.4	0.8	13.8	-	190.0	
60 ~ 69 歳	277	81.6	44.0	20.2	16.6	15.9	6.1	4.3	1.1	-	6.5	0.4	196.8	
70 歳 以 上	437	83.1	36.2	30.7	21.5	20.8	9.4	8.0	2.7	0.5	6.6	1.4	220.8	

表 17 - 2 実践している気候変動適応への取組 (時系列)

(複数回答)

	該 当 者 数	塩分・水分補給やエアコンの適切な使用による熱中症対策(注1)	及び避難経路などの事前確認	ハザードマップなどを活用した水災害リスク	蚊の育つ水たまりを作らないなどの、 Dengue などの蚊を媒介とする感染症の予防	の気候変動影響や気候変動適応についての情報の入手による理解促進(注2)	雨水利用や節水などの水資源の保全	農家や漁業者の支援	身近な動植物への気候変動影響の観察・情報共有	サンゴや高山の動植物などの保全活動	その他	特 に な い	無 回 答	計 (M.T.) %
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
令和 2 年 11 月 調 査	1,767	68.7	43.2	26.1	14.4	17.9	5.7	7.6	1.2	0.6	15.0	2.7	203.1	
令和 5 年 7 月 調 査	1,526	74.4	39.3	18.5	14.2	13.8	5.4	5.2	1.8	0.3	14.2	0.5	187.6	

(注1) 令和2年11月調査では、「塩分・水分補給や空調の適切な使用による熱中症対策」となっている。

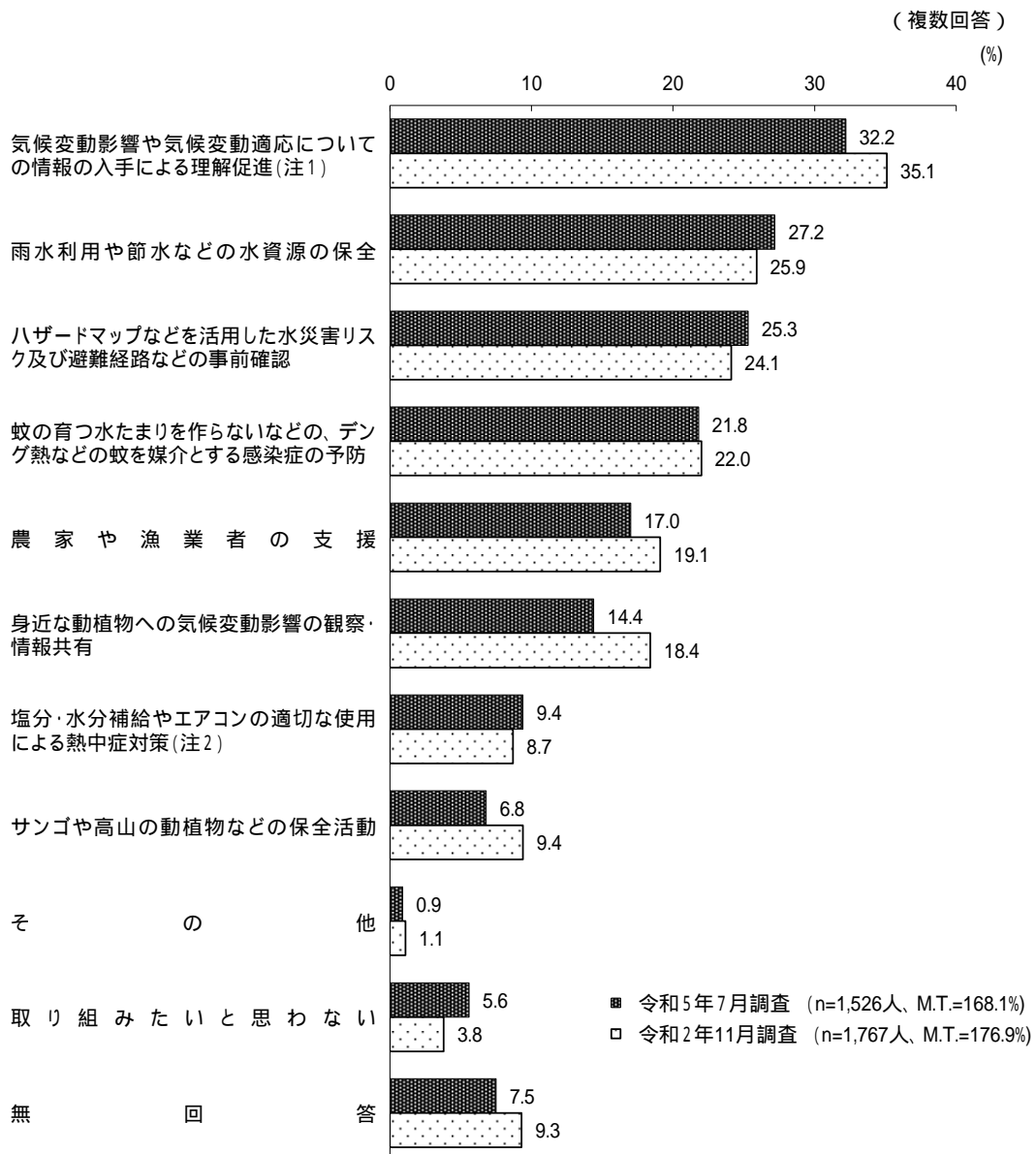
(注2) 令和2年11月調査では、「気候変動影響や気候変動適応についての情報の入手」となっている。

(注3) 令和2年11月調査では、質問文中の「現在、実践している気候変動適応への取組」は下線されていない。

(3) 実践したいと思う気候変動適応への取組

問18. あなたが、今後、新たに実践したいと思う気候変動適応への取組は何ですか。
 (はいくつでも。ただし、選択肢1～8のうち問17で回答したものと同一取組は選択できません。)

	令和2年11月	(上位4項目) 令和5年7月
・気候変動影響や気候変動適応についての情報の入手による理解促進	35.1%	32.2%
・雨水利用や節水などの水資源の保全	25.9%	27.2%
・ハザードマップなどを活用した水災害リスク及び避難経路などの事前確認	24.1%	25.3%
・蚊の育つ水たまりを作らないなどの、デング熱などの蚊を媒介とする感染症の予防	22.0%	21.8%



(注1) 令和2年11月調査では、「気候変動影響や気候変動適応についての情報の入手」となっている。

(注2) 令和2年11月調査では、「塩分・水分補給や空調の適切な使用による熱中症対策」となっている。

(注3) 令和2年11月調査では、「あなたが、現在、取り組んでいないことで、今後、新たに実践したいと思う気候変動適応への取組は何ですか。(はいくつでも)」と聞いている。

表 18 - 1 実践したいと思う気候変動適応への取組

(複数回答)

	該 当 者 数	の 気 候 変 動 影 響 や 気 候 変 動 適 応 に つ い て の 情 報 の 入 手 に よ る 理 解 促 進	雨 水 利 用 や 節 水 な ど の 水 資 源 の 保 全	ハ ザ ー ド マ ツ プ な ど を 活 用 し た 水 災 害 リ ス ク 及 び 避 難 経 路 な ど の 事 前 確 認	熱 蚊 の 育 つ 水 た ま り を 作 ら な い な ど の 蚊 を 媒 介 と す る 感 染 症 の 予 防	農 家 や 漁 業 者 の 支 援	共 有 な 動 植 物 へ の 気 候 変 動 影 響 の 観 察 ・ 情 報	塩 分 ・ 水 分 補 給 や エ ア コ ン の 適 切 な 使 用 に よ る 熱 中 ・ 症 対 策	サ ン ゴ や 高 山 の 動 植 物 な ど の 保 全 活 動	そ の 他	取 り 組 み た い と 思 わ な い	無 回 答	計 (M.T.) %
総 〔 都 市 規 模 〕	1,526	32.2	27.2	25.3	21.8	17.0	14.4	9.4	6.8	0.9	5.6	7.5	168.1
大 都 市	439	32.1	26.2	26.7	18.2	17.8	15.9	10.7	7.1	1.4	5.9	7.1	169.0
東 京 都 区 部	109	36.7	29.4	18.3	16.5	20.2	12.8	11.0	9.2	1.8	7.3	7.3	170.6
政 令 指 定 都 市	330	30.6	25.2	29.4	18.8	17.0	17.0	10.6	6.4	1.2	5.5	7.0	168.5
中 都 市	623	33.4	27.3	25.2	21.3	15.7	13.6	8.3	6.4	0.8	6.7	6.3	165.2
小 都 市	324	30.9	27.2	24.1	25.0	18.2	14.5	9.6	7.7	-	3.4	9.6	170.1
町 村	140	30.7	30.0	24.3	27.1	17.9	12.1	10.0	5.7	1.4	4.3	10.0	173.6
〔 性 〕													
男 性	719	28.5	28.4	23.6	18.8	15.0	13.5	10.3	6.3	1.3	8.2	7.8	161.6
女 性	807	35.6	26.1	26.8	24.4	18.8	15.1	8.7	7.3	0.5	3.2	7.3	173.9
〔 年 齢 〕													
18 ～ 29 歳	116	20.7	20.7	37.1	19.8	19.8	12.1	19.0	5.2	-	13.8	-	168.1
30 ～ 39 歳	165	32.7	22.4	28.5	21.2	22.4	14.5	13.3	4.8	-	9.1	-	169.1
40 ～ 49 歳	271	33.6	26.6	29.5	24.4	19.6	13.3	10.7	10.7	1.5	4.4	3.0	177.1
50 ～ 59 歳	260	38.1	32.3	22.3	20.4	19.6	16.5	8.8	10.4	0.8	4.2	2.7	176.2
60 ～ 69 歳	277	36.1	31.0	24.5	21.7	14.8	17.3	6.5	6.1	1.1	5.4	6.1	170.8
70 歳 以 上	437	28.4	25.6	20.6	21.7	12.6	12.4	6.9	3.9	0.9	3.7	19.0	155.6

表 18 - 2 実践したいと思う気候変動適応への取組 (時系列)

(複数回答)

	該 当 者 数	の 気 候 変 動 影 響 や 気 候 変 動 適 応 に つ い て の 情 報 の 入 手 に よ る 理 解 促 進 (注1)	雨 水 利 用 や 節 水 な ど の 水 資 源 の 保 全	ハ ザ ー ド マ ツ プ な ど を 活 用 し た 水 災 害 リ ス ク 及 び 避 難 経 路 な ど の 事 前 確 認	熱 蚊 の 育 つ 水 た ま り を 作 ら な い な ど の 蚊 を 媒 介 と す る 感 染 症 の 予 防	農 家 や 漁 業 者 の 支 援	共 有 な 動 植 物 へ の 気 候 変 動 影 響 の 観 察 ・ 情 報	塩 分 ・ 水 分 補 給 や エ ア コ ン の 適 切 な 使 用 に よ る 熱 中 ・ 症 対 策 (注2)	サ ン ゴ や 高 山 の 動 植 物 な ど の 保 全 活 動	そ の 他	取 り 組 み た い と 思 わ な い	無 回 答	計 (M.T.) %
令 和 2 年 11 月 調 査	1,767	35.1	25.9	24.1	22.0	19.1	18.4	8.7	9.4	1.1	3.8	9.3	176.9
令 和 5 年 7 月 調 査	1,526	32.2	27.2	25.3	21.8	17.0	14.4	9.4	6.8	0.9	5.6	7.5	168.1

(注1) 令和2年11月調査では、「気候変動影響や気候変動適応についての情報の入手」となっている。

(注2) 令和2年11月調査では、「塩分・水分補給や空調の適切な使用による熱中症対策」となっている。

(注3) 令和2年11月調査では、「あなたが、現在、取り組んでいないことで、今後、新たに実践したいと思う気候変動適応への取組は何ですか。(はいくつでも)」と聞いている。

(4) 気候変動適応に取り組む上で知りたいと思う情報

問19. あなたが、気候変動適応に取り組む上で知りたいと思う情報は何か。(はいくつでも)

(上位5項目)
令和5年7月

- ・ 将来の夏の気温や台風が上陸する際の降水量などの
 気象情報 58.8%
- ・ 対策が必要な気候変動の影響 54.6%
- ・ 熱中症対策として個人でできる取組の情報 43.2%
- ・ 気候変動の影響による自然生態系の変化に関する情報 39.4%
- ・ ハザードマップなどの防災関連の情報 39.1%

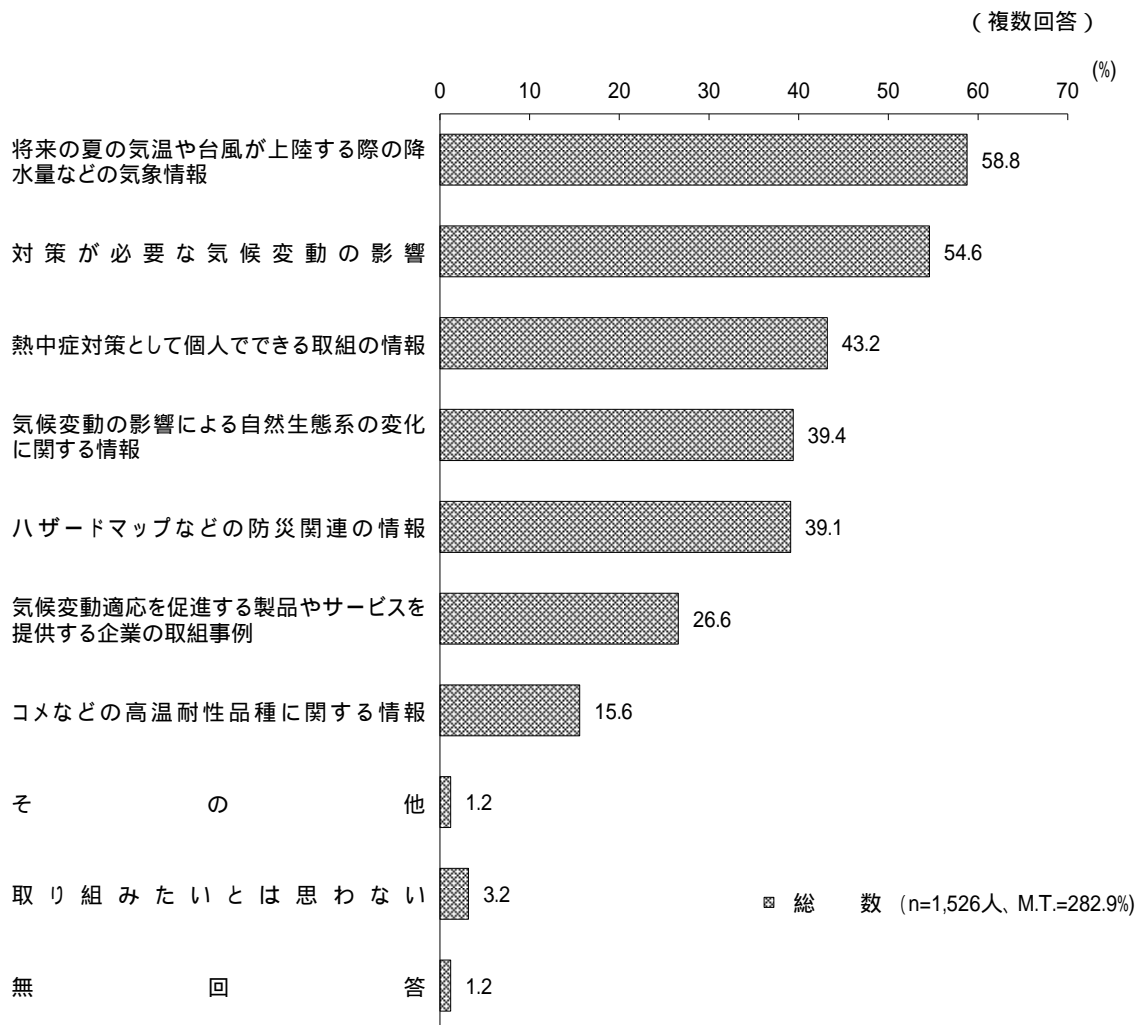


表 19 気候変動適応に取り組む上で知りたいと思う情報

(複数回答)

	該 当 者 数	将来の夏の降水量などの気象情報	対策が必要な気候変動の影響	熱中症対策として個人でできる取組の情報	気候変動の影響による自然生態系の変化に関する情報	ハザードマップなどの防災関連の情報	事例	気候変動適応を促進する製品の取組やサービスを提供する企業の取組	コメントなどの高温耐性品種に関する情報	その他	取り組みたいとは思わない	無 回 答	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総 〔都市規模〕	1,526	58.8	54.6	43.2	39.4	39.1	26.6	15.6	1.2	3.2	1.2	282.9	
大 都 市	439	59.5	57.6	47.8	40.5	44.0	27.1	15.5	1.6	3.4	1.1	298.2	
東 京 都 区 部	109	56.0	63.3	45.9	39.4	43.1	24.8	21.1	4.6	1.8	2.8	302.8	
政 令 指 定 都 市	330	60.6	55.8	48.5	40.9	44.2	27.9	13.6	0.6	3.9	0.6	296.7	
中 都 市	623	57.0	54.6	40.9	38.0	38.0	28.6	13.8	1.4	3.7	1.3	277.4	
小 都 市	324	57.7	52.2	42.9	38.9	34.6	23.8	18.8	0.3	2.8	1.5	273.5	
町 村	140	67.1	50.7	39.3	42.9	39.3	22.9	16.4	0.7	1.4	0.7	281.4	
〔性〕													
男 性	719	57.4	54.0	39.2	40.5	39.5	22.8	16.3	1.7	4.6	1.0	276.9	
女 性	807	60.0	55.1	46.7	38.4	38.8	30.0	15.0	0.7	2.0	1.5	288.2	
〔年齢〕													
18 ~ 29 歳	116	52.6	55.2	48.3	30.2	41.4	19.8	10.3	0.9	8.6	-	267.2	
30 ~ 39 歳	165	51.5	53.3	40.0	30.3	44.8	21.8	15.2	-	5.5	0.6	263.0	
40 ~ 49 歳	271	53.5	62.0	41.0	36.2	46.9	34.7	14.4	0.4	3.3	0.7	293.0	
50 ~ 59 歳	260	55.4	58.5	41.2	41.9	41.9	32.3	11.9	3.5	2.7	-	289.2	
60 ~ 69 歳	277	61.0	59.6	37.9	45.1	36.8	24.2	17.0	1.8	2.2	0.7	286.3	
70 歳 以上	437	67.0	44.9	49.0	42.1	31.4	23.3	19.2	0.5	1.8	3.2	282.4	

(5) 気候変動適応を实践する上での課題

問 2 0 . あなたが、ご自身で気候変動適応を实践するに当たり、どのような課題があると思いますか。(はいくつでも)

	令和 2 年 11 月	(上位 4 項目) 令和 5 年 7 月
・ どのような基準で選択し、どのように取り組めばよ い か 情 報 が 不 足 し て い る こ と	63.3%	59.8%
・ 経済的なコストが掛かること	37.4%	47.4%
・ 気候変動適応としてどれだけ効果があるのかわから ないこと	44.6%	46.0%
・ 日常生活の中で常に意識して行動するのが難しいこと	32.9%	37.8%

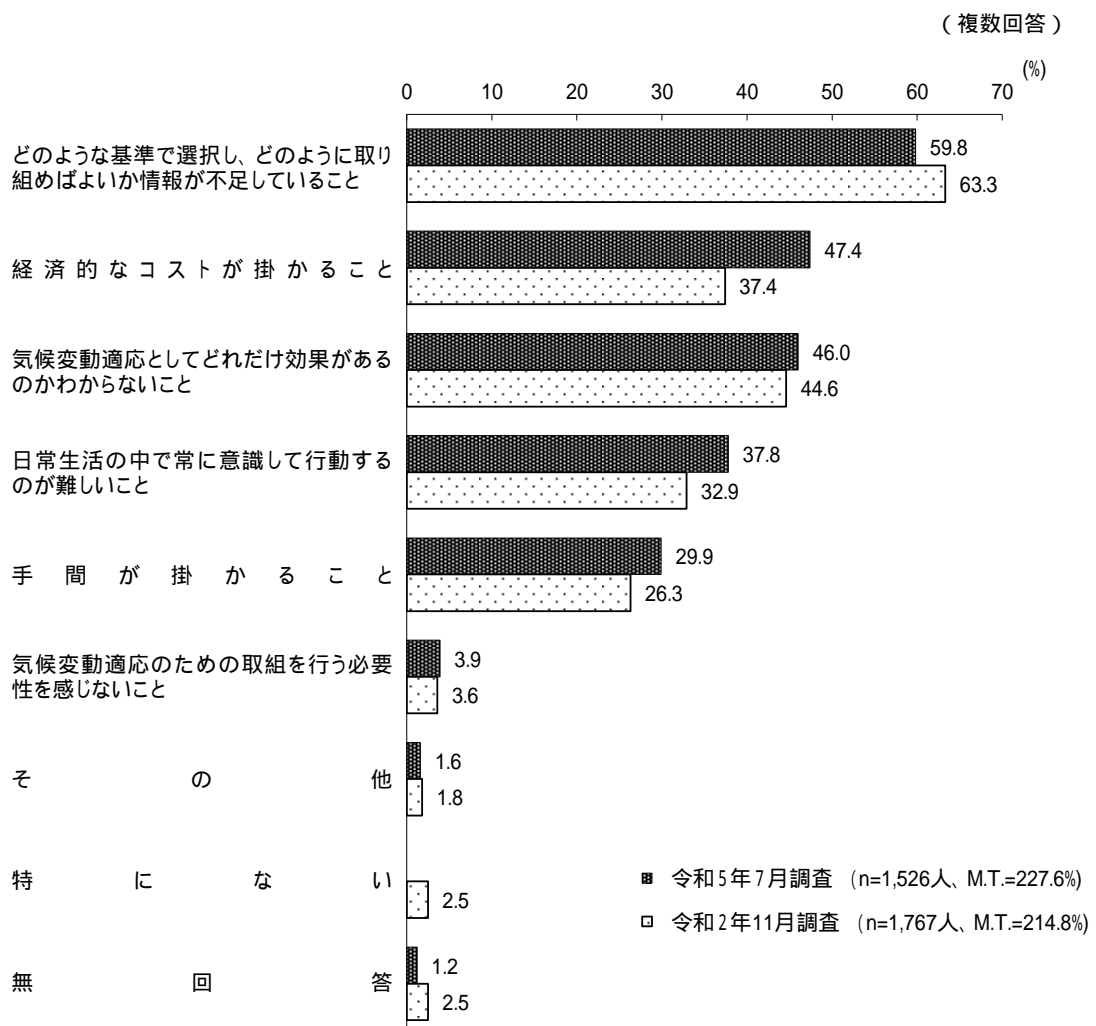


表 20 - 1 気候変動適応を实践する上での課題

(複数回答)

	該 当 者 数	し う ど の よ う な 組 め ば よ い か 情 報 が 不 足 し て い る こ と	し う ど の よ う な 組 め ば よ い か 情 報 が 不 足 し て い る こ と	し う ど の よ う な 組 め ば よ い か 情 報 が 不 足 し て い る こ と	し う ど の よ う な 組 め ば よ い か 情 報 が 不 足 し て い る こ と	し う ど の よ う な 組 め ば よ い か 情 報 が 不 足 し て い る こ と	し う ど の よ う な 組 め ば よ い か 情 報 が 不 足 し て い る こ と	し う ど の よ う な 組 め ば よ い か 情 報 が 不 足 し て い る こ と	し う ど の よ う な 組 め ば よ い か 情 報 が 不 足 し て い る こ と	し う ど の よ う な 組 め ば よ い か 情 報 が 不 足 し て い る こ と	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総 〔都市規模〕 大 東 都 市 京 都 部 政 令 指 定 都 市 中 都 市 小 都 市 町 村 〔性 男 女 〔年 18 ~ 29 歳 30 ~ 39 歳 40 ~ 49 歳 50 ~ 59 歳 60 ~ 69 歳 70 歳 以 上	1,526	59.8	47.4	46.0	37.8	29.9	3.9	1.6	1.2	227.6	
	439	59.9	49.4	47.6	35.8	29.4	4.1	1.8	0.9	228.9	
	109	60.6	51.4	45.9	33.0	21.1	3.7	1.8	0.9	218.3	
	330	59.7	48.8	48.2	36.7	32.1	4.2	1.8	0.9	232.4	
	623	59.2	47.8	46.9	37.6	30.7	3.5	0.8	0.8	227.3	
	324	59.3	45.1	45.4	39.5	29.9	4.9	2.8	2.2	229.0	
	140	62.9	45.0	38.6	41.4	27.9	2.9	1.4	1.4	221.4	
	719	56.9	50.3	48.4	37.6	35.3	6.3	2.4	0.6	237.7	
	807	62.3	44.9	43.9	38.0	25.0	1.9	0.9	1.7	218.6	
	116	51.7	50.9	39.7	37.9	47.4	3.4	1.7	-	232.8	
	165	59.4	52.1	38.8	39.4	38.2	7.3	1.8	-	237.0	
	271	57.9	53.5	50.2	35.4	32.1	4.8	0.7	0.4	235.1	
	260	61.9	49.6	53.5	31.2	35.0	2.7	2.3	-	236.2	
	277	62.5	43.3	45.5	35.7	24.5	2.9	1.4	0.7	216.6	
	437	60.2	42.3	43.7	43.9	21.1	3.7	1.6	3.4	219.9	

表 20 - 2 気候変動適応を实践する上での課題 (時系列)

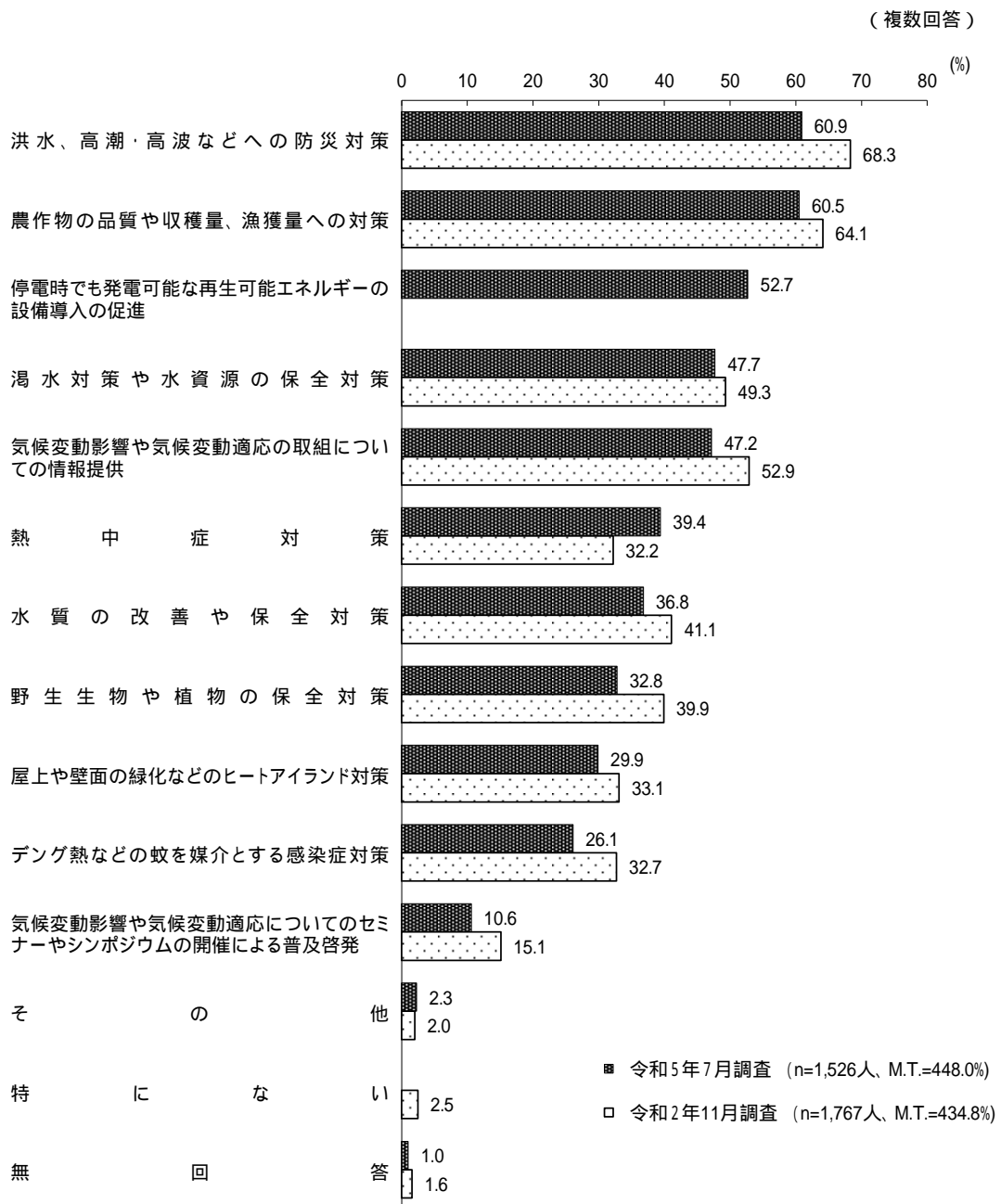
(複数回答)

	該 当 者 数	し う ど の よ う な 組 め ば よ い か 情 報 が 不 足 し て い る こ と	し う ど の よ う な 組 め ば よ い か 情 報 が 不 足 し て い る こ と	し う ど の よ う な 組 め ば よ い か 情 報 が 不 足 し て い る こ と	し う ど の よ う な 組 め ば よ い か 情 報 が 不 足 し て い る こ と	し う ど の よ う な 組 め ば よ い か 情 報 が 不 足 し て い る こ と	し う ど の よ う な 組 め ば よ い か 情 報 が 不 足 し て い る こ と	し う ど の よ う な 組 め ば よ い か 情 報 が 不 足 し て い る こ と	し う ど の よ う な 組 め ば よ い か 情 報 が 不 足 し て い る こ と	し う ど の よ う な 組 め ば よ い か 情 報 が 不 足 し て い る こ と	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
令 和 2 年 11 月 調 査	1,767	63.3	37.4	44.6	32.9	26.3	3.6	1.8	2.5	2.5	214.8
令 和 5 年 7 月 調 査	1,526	59.8	47.4	46.0	37.8	29.9	3.9	1.6	1.2	227.6	

(6) 気候変動適応に関して政府、地方公共団体に期待する取組

問21. あなたが、今後、気候変動適応を実践する上で、政府や地方公共団体にどのような取組を期待しますか。(はいいくつでも)

	令和2年11月	令和5年7月
・洪水、高潮・高波などへの防災対策	68.3%	60.9%
・農作物の品質や収穫量、漁獲量への対策	64.1%	60.5%
・停電時でも発電可能な再生可能エネルギーの設備導入の促進		52.7%
・渇水対策や水資源の保全対策	49.3%	47.7%
・気候変動影響や気候変動適応の取組についての情報提供	52.9%	47.2%



(注) 令和2年11月調査では、「あなたは、今後、気候変動適応に関して、政府にどのような取組を期待しますか。」と聞いている。

表 21 - 1 気候変動適応に関して政府、地方公共団体に期待する取組

(複数回答)

該当者数	洪水、高潮・高波などへの防災対策	農作物の品質や収穫量、漁獲量への対策	備電時でも発電可能な再生可能エネルギーの設備導入の促進	停電時でも発電可能な再生可能エネルギーの設備	渇水対策や水資源の保全対策	気候変動影響や気候変動適応の取組についての情報提供	熱中症対策	水質の改善や保全対策	野生生物や植物の保全対策	屋上や壁面の緑化などのヒートアイランド対策	デング熱などの蚊を媒介とする感染症対策	気候変動影響や気候変動適応についてのセミナーやシンポジウムの開催による普及啓発	その他	無回答	計 (M.T.)
総数	1,526	60.9	60.5	52.7	47.7	47.2	39.4	36.8	32.8	29.9	26.1	10.6	2.3	1.0	448.0
〔都市規模〕															
大都市	439	68.6	64.7	55.6	52.6	49.0	43.5	43.5	37.6	38.3	29.8	12.3	2.5	1.1	499.1
東京都区部	109	68.8	67.9	55.0	56.9	50.5	43.1	45.0	36.7	49.5	26.6	12.8	1.8	1.8	516.5
政令指定都市	330	68.5	63.6	55.8	51.2	48.5	43.6	43.0	37.9	34.5	30.9	12.1	2.7	0.9	493.3
中都市	623	57.6	58.3	52.0	47.8	49.9	37.7	36.0	31.1	29.9	24.6	9.1	1.9	1.0	436.9
小都市	324	56.5	59.9	48.1	43.8	44.1	40.1	31.8	28.7	22.5	24.7	11.7	2.8	1.2	416.0
町村	140	62.1	58.6	57.1	40.7	37.1	32.9	31.4	34.3	21.4	24.3	9.3	2.1	-	411.4
〔性別〕															
男性	719	60.1	59.0	45.8	48.1	45.1	39.8	34.9	29.6	27.5	23.6	9.9	2.9	1.1	427.4
女性	807	61.7	61.8	58.9	47.3	49.2	39.2	38.5	35.6	32.1	28.3	11.3	1.7	0.9	466.4
〔年齢〕															
18～29歳	116	49.1	56.9	46.6	39.7	36.2	48.3	39.7	36.2	30.2	27.6	7.8	1.7	-	419.8
30～39歳	165	63.0	66.1	51.5	45.5	36.4	44.2	46.1	33.9	35.2	35.8	13.3	3.0	0.6	474.5
40～49歳	271	64.9	64.2	57.6	50.2	50.2	35.1	41.7	40.6	39.5	25.8	10.0	1.5	0.7	481.9
50～59歳	260	64.2	62.7	58.5	51.9	49.2	39.6	38.8	34.6	36.2	29.6	10.8	5.0	0.4	481.5
60～69歳	277	58.5	54.5	53.1	44.8	52.0	35.0	28.5	30.3	26.0	22.4	9.0	2.2	0.4	416.6
70歳以上	437	60.4	59.5	48.1	48.5	48.3	40.7	33.6	27.0	20.8	22.4	11.7	1.1	2.3	424.5

表 21 - 2 気候変動適応に関して政府、地方公共団体に期待する取組 (時系列)

(複数回答)

該当者数	洪水、高潮・高波などへの防災対策	農作物の品質や収穫量、漁獲量への対策	備電時でも発電可能な再生可能エネルギーの設備導入の促進	停電時でも発電可能な再生可能エネルギーの設備	渇水対策や水資源の保全対策	気候変動影響や気候変動適応の取組についての情報提供	熱中症対策	水質の改善や保全対策	野生生物や植物の保全対策	屋上や壁面の緑化などのヒートアイランド対策	デング熱などの蚊を媒介とする感染症対策	気候変動影響や気候変動適応についてのセミナーやシンポジウムの開催による普及啓発	その他	特になし	無回答	計 (M.T.)
令和2年11月調査	1,767	68.3	64.1	49.3	52.9	32.2	41.1	39.9	33.1	32.7	15.1	2.0	2.5	1.6	434.8	
令和5年7月調査	1,526	60.9	60.5	52.7	47.7	47.2	39.4	36.8	32.8	29.9	26.1	10.6	2.3	1.0	448.0	

(注) 令和2年11月調査では、「あなたは、今後、気候変動適応に関して、政府にどのような取組を期待しますか。」と聞いている。

(7) 気候変動適応に関して企業に期待する取組

問22. あなたが、今後、気候変動適応を実践する上で、企業にどのような取組を期待しますか。(はいくつでも)

(上位4項目)
令和5年7月

- ・気候変動適応を実践するための商品の開発及び普及 58.4%
- ・災害後の社会・経済活動の早期復旧に向けた企業体制の整備 51.9%
- ・気候変動影響や気候変動適応に関する情報発信 47.2%
- ・予測精度の高い気象情報の提供 46.3%

(複数回答)

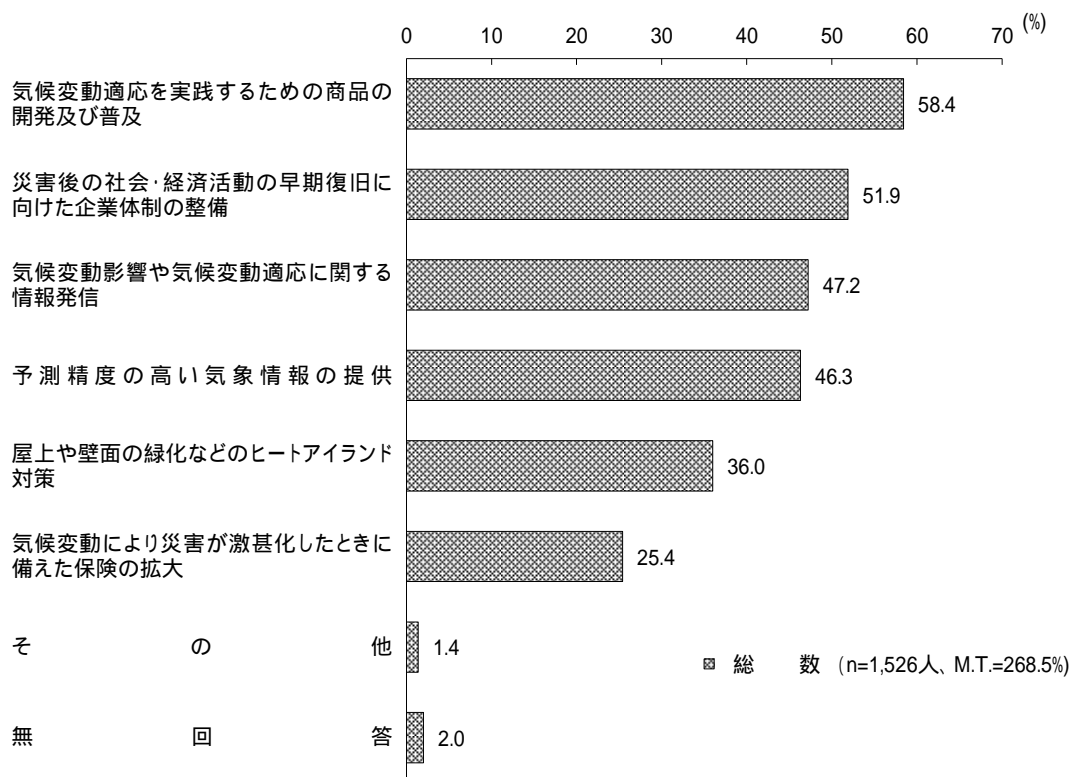


表 22 気候変動適応に関して企業に期待する取組

(複数回答)

	該 当 者 数	気 候 変 動 適 応 の 開 発 及 び 普 及	災 害 復 旧 の 社 会 的 ・ 経 済 活 動 の 整 備	気 候 変 動 影 響 や 気 候 変 動 適 応 に 関 する 情 報 発 信	提 供 精 度 の 高 い 気 象 情 報 の	屋 上 や 壁 面 の 緑 化 な ど の ヒ ー ト ア イ ラ ン ド 対 策	気 候 変 動 に よ り 災 害 が 激 し い と き に 備 え た 保 険 の 基 礎 を 拡 大	そ の 他	無 回 答	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総 〔都市規模〕	1,526	58.4	51.9	47.2	46.3	36.0	25.4	1.4	2.0	268.5
大 都 市	439	60.8	54.2	47.4	47.8	46.9	28.7	1.4	1.6	288.8
東 京 都 区 部	109	67.0	45.9	45.9	51.4	54.1	26.6	0.9	1.8	293.6
政 令 指 定 都 市	330	58.8	57.0	47.9	46.7	44.5	29.4	1.5	1.5	287.3
中 都 市	623	57.8	52.3	45.9	46.2	34.7	23.4	1.1	1.6	263.1
小 都 市	324	57.7	46.3	48.8	44.1	28.7	24.1	1.9	3.4	254.9
町 〔性〕	140	55.0	55.7	49.3	46.4	24.3	26.4	2.1	1.4	260.7
男 性	719	58.6	50.1	44.5	49.1	35.9	23.4	1.8	1.5	264.8
女 性	807	58.2	53.5	49.7	43.7	36.1	27.1	1.1	2.4	271.9
〔年齢〕										
18 ~ 29 歳	116	51.7	43.1	42.2	37.1	32.8	25.0	1.7	-	233.6
30 ~ 39 歳	165	57.6	49.1	47.3	43.0	43.0	30.3	0.6	1.2	272.1
40 ~ 49 歳	271	60.9	53.1	50.2	47.6	43.5	27.7	0.7	0.7	284.5
50 ~ 59 歳	260	65.4	54.2	45.8	44.6	44.2	25.4	3.1	1.2	283.8
60 ~ 69 歳	277	58.1	54.5	43.0	49.1	34.3	25.6	1.8	1.1	267.5
70 歳 以上	437	54.9	51.5	50.3	48.3	25.6	22.0	0.9	4.6	258.1

気候変動に関する世論調査

令和5年7月

(n=1,526 (郵送：n=1,057、インターネット：n=469))

気候変動問題についておうかがいします

この下の 問1 からお答えください

問1. 気候変動とは、人間の活動に伴って発生する二酸化炭素などの温室効果ガスが増えることによって地球の気温が上昇する「地球温暖化」や、自然の要因などによって気温や降水量などが変動することをいいます。あなたは、気候変動が引き起こす問題に関心がありますか。

(は1つ)

- (48.0) 1. 関心がある
- (41.4) 2. ある程度関心がある
- (8.1) 3. あまり関心がない
- (1.7) 4. 全く関心がない
- (0.9) 無回答

問2. あなたは、2015年にフランスのパリで開催された国際会議「COP21」で採択された、気候変動対策のための国際的な枠組みである「パリ協定」を知っていますか。

(は1つ)

- (12.7) 1. 内容まで知っている
- (66.1) 2. 名前は聞いたことがある
- (20.1) 3. 知らない
- (1.2) 無回答

1又は2と答えた方は問3へ

右の段の 問4 に進んでください

問2で「1.内容まで知っている」、「2.名前は聞いたことがある」と答えた方への質問

問3. パリ協定について何で知りましたか。

(はいくつでも)

(n=1,202)

- (89.4) 1. テレビ・ラジオ
- (47.9) 2. 新聞・雑誌・本
- (1.2) 3. 環境省のポスター・パンフレット
- (2.4) 4. 地方公共団体・民間企業のポスター・パンフレット
- (4.7) 5. 学校などの教育機関
- (4.2) 6. 家族・知人・友人
- (1.1) 7. シンポジウムなどのイベント
- (1.5) 8. 環境省のホームページ
- (0.3) 9. 国立環境研究所のホームページ
- (1.3) 10. 地方公共団体・民間企業のホームページ
- (5.3) 11. Twitter や Facebook などの SNS
- (2.7) 12. その他(具体的に) _____
- (1.7) 無回答 (M.T.=163.8)

ここからは全員の方がお答えください

問4. 国際連合によって設置された IPCC という政府間の組織は、1990年から5~7年程度ごとに気候変動に関連する評価報告書を公表しています。あなたは、最新の同報告書において、初めて、人間の活動が地球を温暖化させてきたと断定する見解が示されたことを知っていますか。

(は1つ)

- (42.3) 1. 知っている
- (56.5) 2. 知らない
- (1.2) 無回答

次のページの 問6 に進んでください

次のページの 問5 に進んでください

問4で「1.知っている」と答えた方への質問

問5. その報告書の内容について何で知りましたか。
(はいくつでも)

- (n=645)
- (90.4) 1. テレビ・ラジオ
- (60.5) 2. 新聞・雑誌・本
- (2.3) 3. 環境省のポスター・パンフレット
- (2.9) 4. 地方公共団体・民間企業のポスター・パンフレット
- (2.8) 5. 学校などの教育機関
- (5.6) 6. 家族・知人・友人
- (1.2) 7. シンポジウムなどのイベント
- (1.2) 8. 環境省のホームページ
- (0.9) 9. 国立環境研究所のホームページ
- (1.2) 10. 地方公共団体・民間企業のホームページ
ツイッター フェイスブック
- (5.1) 11. Twitter や Facebook などの SNS
- (2.2) 12. その他(具体的に) _____
- (0.6) 無回答 (M.T.=177.1)



ここからは、脱炭素社会についておうかがいします

ここからは全員の方がお答えください

問6. 「脱炭素社会」とは、人間の活動による温室効果ガスの排出量と森林などによる吸収量が等しくなり、排出実質ゼロとなる社会をいいます。あなたは、「脱炭素社会」について知っていましたか。

(はい1つ)

- (43.8) 1. 知っていた
- (40.0) 2. 言葉だけは知っていた
- (14.7) 3. 知らなかった
- (1.6) 無回答

問7. あなたは、「脱炭素社会」の実現に向け、一人一人が二酸化炭素などの排出を減らす取組について、どのようにお考えですか。

(はい1つ)

- (25.1) 1. 積極的に取り組みたい
- (65.1) 2. ある程度取り組みたい
- (6.3) 3. あまり取り組みたくない
- (1.7) 4. 全く取り組みたくない
- (1.8) 無回答

3又は4と答えた方は問8へ

右の段の問9に進んでください

問7で「3.あまり取り組みたくない」「4.全く取り組みたくない」と答えた方への質問

問8. 取り組みたくない理由は何ですか。
(はいくつでも)

- (n=122)
- (21.3) 1. 経済的なコストが掛かるから
- (23.8) 2. 手間が掛かるから
- (30.3) 3. どのような基準で選択し、どのように取り組みればよいか情報が不足しているから
- (27.9) 4. 日常生活の中で常に意識して行動するのが難しいから
- (47.5) 5. 地球温暖化への対策としてどれだけ効果があるのかわからないから
- (14.8) 6. 地球温暖化への対策のための取組を行う必要性を感じないから
- (14.8) 7. その他(具体的に) _____
- (7.4) 8. 特になし
- (4.9) 無回答 (M.T.=192.6)



ここからは全員の方がお答えください

問9. 「脱炭素社会」の実現に向け、あなたが日常生活の中で、現在、取り組んでいることは何かありますか。
(はいくつでも)

- (60.7) 1. 軽装や重ね着などにより、冷暖房の設定温度を適切に管理
- (70.1) 2. こまめな消灯、家電のコンセントを抜くなどによる電気消費量の削減
- (47.8) 3. 冷蔵庫、エアコン、照明器具などの家電製品を購入する際に、省エネルギー効果の高い製品を購入
- (32.4) 4. 宅配便の1回での受取り、または宅配ボックスでの受取りなどによる再配達防止
- (11.3) 5. 部屋の温度を快適に保つ高断熱などの省エネ住宅への居住、またはリフォームの施工
- (8.1) 6. 太陽光発電パネルの設置による自家発電、または自宅の電気プランを再生可能エネルギー利用のものに切替え
- (34.1) 7. 移動時に徒歩・自転車・公共交通機関の利用
- (16.3) 8. 電気自動車などのエコカーの選択やゆっくり加速・減速などのエコドライブの実践
- (11.1) 9. 地球温暖化への対策に取り組む企業の商品の購入やサービスの利用
- (3.8) 10. 地球温暖化への対策に取り組む団体・個人への応援・支援
- (1.6) 11. その他(具体的に) _____
- (6.6) 12. 現在は取り組んでいない
- (1.7) 無回答 (M.T.=305.6)

右のページの問10に進んでください

問10. 「脱炭素社会」の実現に向け、あなたが日常生活の中で、今後、新たに取り組んでみたいと思うことはありますか。(はいいくつでも。ただし、選択肢1~10のうち問9で回答したものと同一取組は選択できません。)

- (11.8) 1. 軽装や重ね着などにより、冷暖房の設定温度を適切に管理
- (11.7) 2. こまめな消灯、家電のコンセントを抜くなどによる電気消費量の削減
- (23.1) 3. 冷蔵庫、エアコン、照明器具などの家電製品を購入する際に、省エネルギー効果の高い製品を購入
- (19.2) 4. 宅配便の1回での受取り、または宅配ボックスでの受取りなどによる再配達防止
- (13.0) 5. 部屋の温度を快適に保つ高断熱などの省エネ住宅への居住、またはリフォームの施工
- (10.9) 6. 太陽光発電パネルの設置による自家発電、または自宅の電気プランを再生可能エネルギー利用のものに切替え
- (15.2) 7. 移動時に徒歩・自転車・公共交通機関の利用
- (21.4) 8. 電気自動車などのエコカーの選択やゆっくり加速・減速などのエコドライブの実践
- (26.6) 9. 地球温暖化への対策に取り組む企業の商品の購入やサービスの利用
- (9.5) 10. 地球温暖化への対策に取り組む団体・個人への応援・支援
- (1.1) 11. その他(具体的に) _____
- (5.3) 12. 取り組みたいとは思わない
- (9.9) 無回答 (M.T.=178.6)

ここからは、気候変動影響についておうかがいします

問11. 地球温暖化などの気候変動は、農作物の品質低下、野生生物の生息域の変化、大雨の頻発化に伴う水害リスクの増加、熱中症搬送者数の増加といった形で、私たちの暮らしの様々なところに影響を与えています。このような気候変動による影響を「気候変動影響」といいます。あなたは、地球温暖化などの気候変動により、このような様々な影響が出ることを知っていましたか。

(はい1つ)

- (87.6) 1. 知っていた
- (11.0) 2. 知らなかった
- (1.4) 無回答

1と答えた方は問12へ

右の段の問13に進んでください

問11で「1.知っていた」と答えた方への質問

問12. 気候変動影響について何で知りましたか。

(はいいくつでも)

- (n=1,337)
- (92.4) 1. テレビ・ラジオ
 - (59.0) 2. 新聞・雑誌・本
 - (2.5) 3. 環境省のポスター・パンフレット
 - (5.6) 4. 地方公共団体・民間企業のポスター・パンフレット
 - (8.7) 5. 学校などの教育機関
 - (9.4) 6. 家族・知人・友人
 - (2.2) 7. シンポジウムなどのイベント
 - (1.3) 8. 環境省のホームページ
 - (0.2) 9. A-PLAT エーブラット などの国立環境研究所のホームページ
 - (1.7) 10. 地方公共団体・民間企業のホームページ
 - (9.3) 11. Twitter ツイッター や Facebook フェイスブック などのSNS
 - (2.7) 12. その他(具体的に) _____
 - (1.5) 無回答 (M.T.=196.4)

ここからは全員の方がお答えください

問13. あなたが、日常生活の中で気候変動影響を感じることは何ですか。

(はいいくつでも)

- (79.6) 1. 雨の降り方の激しさ
- (94.8) 2. 夏の暑さ
- (30.1) 3. 冬の寒さや雪の降り方
- (19.0) 4. セミの種類・鳴き声など身近な動物の変化
- (39.2) 5. 桜の開花時期など身近な植物の変化
- (4.1) 6. その他(具体的に) _____
- (1.2) 7. 特に感じない
- (1.9) 無回答 (M.T.=269.9)

次のページの問14に進んでください

問 14. 地球温暖化などの気候変動は、将来にわたって自然や人間生活に以下のような様々な影響を与えることが予測されています。あなたは、どのような影響を問題だと思えますか。

(はいくつでも)

- (85.7) 1. 農作物の品質や収穫量の低下、漁獲量が減少すること
- (35.2) 2. 水質が悪化すること
- (41.3) 3. 湯水が増加すること
- (57.1) 4. 野生生物や植物の生息域が変化すること
- (76.4) 5. 洪水、高潮・高波などによる気象災害が増加すること
- (66.7) 6. 熱中症のリスクが増大すること
- (29.2) 7. デング熱などの蚊を媒介とする感染症のリスクが増大すること
- (35.9) 8. 気象災害による工場の被災など社会・経済に被害が発生すること
- (69.6) 9. 豪雨や暴風による停電や交通まひなどインフラ・ライフラインに被害がでること
- (33.1) 10. 気温上昇による睡眠の質の低下などによって生活環境の快適さが損なわれること
- (1.8) 11. その他(具体的に) _____
- (1.1) 12. 特に問題はない
- (0.3) 無回答 (M.T.=533.5)

ここからは、気候変動適応についておうかがいします

問 15. 気候変動は私たちの生活にも影響を与えています。その影響に対処し、被害を防止・軽減する取組を「気候変動適応」といいます。あなたは、気候変動適応という言葉、その取組を知っていましたか。

(はい1つ)

- (12.7) 1. 知っていた
- (25.2) 2. 言葉は知っていたが、取組は知らなかった
- (12.8) 3. 言葉は知らなかったが、取組は知っていた
- (48.5) 4. 知らなかった
- (0.8) 無回答

1又は2又は3と答えた方は問16へ

右の段の問17に進んでください

問15で「1.知っていた」、「2.言葉は知っていたが、取組は知らなかった」、「3.言葉は知らなかったが、取組は知っていた」と答えた方への質問

問 16. 気候変動適応の言葉もしくはその取組について何で知りましたか。

(はいくつでも)

- (n=774)
- (88.8) 1. テレビ・ラジオ
- (59.6) 2. 新聞・雑誌・本
- (3.4) 3. 環境省のポスター・パンフレット
- (4.8) 4. 地方公共団体・民間企業のポスター・パンフレット
- (3.4) 5. 学校などの教育機関
- (5.4) 6. 家族・知人・友人
- (1.6) 7. シンポジウムなどのイベント
- (1.4) 8. 環境省のホームページ
- (0.3) 9. A-PLAT などの国立環境研究所のホームページ
- (2.2) 10. 地方公共団体・民間企業のホームページ
- (6.8) 11. Twitter や Facebook などの SNS
- (0.8) 12. その他(具体的に) _____
- (2.6) 無回答 (M.T.=180.9)

ここからは全員の方がお答えください

問 17. あなたが、現在、実践している気候変動適応への取組は何ですか。

(はいくつでも)

- (5.4) 1. 農家や漁業者の支援
- (13.8) 2. 雨水利用や節水などの水資源の保全
- (1.8) 3. サンゴや高山の動植物などの保全活動
- (39.3) 4. ハザードマップなどを活用した水災害リスク及び避難経路などの事前確認
- (74.4) 5. 塩分・水分補給やエアコンの適切な使用による熱中症対策
- (18.5) 6. 蚊の育つ水たまりを作らないなどの、デング熱などの蚊を媒介とする感染症の予防
- (5.2) 7. 身近な動植物への気候変動影響の観察・情報共有
- (14.2) 8. 気候変動影響や気候変動適応についての情報の入手による理解促進
- (0.3) 9. その他(具体的に) _____
- (14.2) 10. 特になし
- (0.5) 無回答 (M.T.=187.6)

右のページの問18に進んでください

問 18. あなたが、今後、新たに実践したいと思う気候変動適応への取組は何ですか。(はいくつでも。ただし、選択肢1~8のうち問17で回答したものと同一取組は選択できません。)

- (17.0) 1. 農家や漁業者の支援
- (27.2) 2. 雨水利用や節水などの水資源の保全
- (6.8) 3. サンゴや高山の動植物などの保全活動
- (25.3) 4. ハザードマップなどを活用した水災害リスク及び避難経路などの事前確認
- (9.4) 5. 塩分・水分補給やエアコンの適切な使用による熱中症対策
- (21.8) 6. 蚊の育つ水たまりを作らないなどの、デング熱などの蚊を媒介とする感染症の予防
- (14.4) 7. 身近な動植物への気候変動影響の観察・情報共有
- (32.2) 8. 気候変動影響や気候変動適応についての情報の入手による理解促進
- (0.9) 9. その他(具体的に) _____
- (5.6) 10. 取り組みたいと思わない
- (7.5) 無回答 (M.T.=168.1)

問 19. あなたが、気候変動適応を取り組む上で知りたいと思う情報は何か。(はいくつでも)

- (54.6) 1. 対策が必要な気候変動の影響
- (15.6) 2. コメなどの高温耐性品種に関する情報
- (39.1) 3. ハザードマップなどの防災関連の情報
- (39.4) 4. 気候変動の影響による自然生態系の変化に関する情報
- (43.2) 5. 熱中症対策として個人でできる取組の情報
- (58.8) 6. 将来の夏の気温や台風が上陸する際の降水量などの気象情報
- (26.6) 7. 気候変動適応を促進する製品やサービスを提供する企業の取組事例
- (1.2) 8. その他(具体的に) _____
- (3.2) 9. 取り組みたいとは思わない
- (1.2) 無回答 (M.T.=282.9)

問 20. あなたが、ご自身で気候変動適応を実践するに当たり、どのような課題があると思いますか。(はいくつでも)

- (47.4) 1. 経済的なコストが掛かること
- (29.9) 2. 手間が掛かること
- (59.8) 3. どのような基準で選択し、どのように取り組めばよいか情報が不足していること
- (37.8) 4. 日常生活の中で常に意識して行動するのが難しいこと
- (46.0) 5. 気候変動適応としてどれだけ効果があるのかわからないこと
- (3.9) 6. 気候変動適応のための取組を行う必要性を感じないこと
- (1.6) 7. その他(具体的に) _____
- (1.2) 無回答 (M.T.=227.6)

問 21. あなたが、今後、気候変動適応を実践する上で、政府や地方公共団体にどのような取組を期待しますか。(はいくつでも)

- (60.5) 1. 農作物の品質や収穫量、漁獲量への対策
- (36.8) 2. 水質の改善や保全対策
- (47.7) 3. 渇水対策や水資源の保全対策
- (32.8) 4. 野生生物や植物の保全対策
- (60.9) 5. 洪水、高潮・高波などへの防災対策
- (39.4) 6. 熱中症対策
- (26.1) 7. デング熱などの蚊を媒介とする感染症対策
- (29.9) 8. 屋上や壁面の緑化などのヒートアイランド対策
- (52.7) 9. 停電時でも発電可能な再生可能エネルギーの設備導入の促進
- (47.2) 10. 気候変動影響や気候変動適応の取組についての情報提供
- (10.6) 11. 気候変動影響や気候変動適応についてのセミナーやシンポジウムの開催による普及啓発
- (2.3) 12. その他(具体的に) _____
- (1.0) 無回答 (M.T.=448.0)

問 22. あなたが、今後、気候変動適応を実践する上で、企業にどのような取組を期待しますか。(はいくつでも)

- (58.4) 1. 気候変動適応を実践するための商品の開発及び普及
- (47.2) 2. 気候変動影響や気候変動適応に関する情報発信
- (51.9) 3. 災害後の社会・経済活動の早期復旧に向けた企業体制の整備
- (36.0) 4. 屋上や壁面の緑化などのヒートアイランド対策
- (46.3) 5. 予測精度の高い気象情報の提供
- (25.4) 6. 気候変動により災害が激化したときに備えた保険の拡大
- (1.4) 7. その他(具体的に) _____
- (2.0) 無回答 (M.T.=268.5)

次のページの F1 に進んでください

ご回答を統計的に分析するために、あなたご自身のことをおうかがいします

F1. 差し支えなければ、あなたの性別をお答えください。
(は1つ)

(47.1) 1 . 男性 (52.9) 2 . 女性

F2. あなたのお年は満でいくつですか。年齢をお書きください。

歳

(1.3) 18~19 歳 (7.4) 40~44 歳 (9.3) 65~69 歳
(3.4) 20~24 歳 (10.4) 45~49 歳 (10.0) 70~74 歳
(2.9) 25~29 歳 (8.7) 50~54 歳 (7.8) 75~79 歳
(5.2) 30~34 歳 (8.4) 55~59 歳 (10.8) 80 歳以上
(5.6) 35~39 歳 (8.8) 60~64 歳

F3. あなたのお仕事についておうかがいします。あなたは、この中のどれに当たりますか。どれに当てはまるかわからない場合には、「8.」に をつけ、「その他」の欄にできるだけ具体的にお書きください。

(は1つ)

(36.0) 1 . 役員を含む、正規の職員・従業員
(15.1) 2 . 期間従業員、契約社員、派遣社員を含む、非正規の職員・従業員
(7.0) 3 . 自分で、または共同で事業を営んでいる
自営業主・自由業
(1.3) 4 . 家族従業者・家族が営んでいる事業を手伝っている者
(16.7) 5 . 主婦・主夫
(2.1) 6 . 学生
(19.9) 7 . 無職
(1.8) 8 . その他

できるだけ具体的にお書きください。

(0.1) 無回答

今後の調査実施の参考とするため、ここからは今回の調査についておうかがいします

問A. 今回の調査の答えやすさはどうでしたか。
(は1つ)

(57.6) 1 . 答えやすかった
(11.3) 2 . 答えにくかった
(30.7) 3 . どちらともいえない
(0.4) 無回答

問B. 今回の調査の分量はどうでしたか。
(は1つ)

(5.2) 1 . 少ないと感じた
(76.3) 2 . 適当と感じた
(18.0) 3 . 多いと感じた
(0.5) 無回答

問C. 今回の調査への回答に要した時間は、およそどれくらいでしたか。
(は1つ)

(49.9) 1 . 15分未満
(41.8) 2 . 15~30分程度
(8.0) 3 . 30分以上
(0.3) 無回答

問D. 今回の調査にご回答いただいたのは、どなた様ですか。
(は1つ)

(97.4) 1 . 郵便宛名のご本人様
(2.3) 2 . ご本人様のご意見を代理の方が記入
(-) 3 . 代理の方(代理の方のご意見を記入)

代理の方が記入された理由をお教えてください。

(0.3) 無回答